

【項目 1】

◎府道浜丹後線通行止め 「10日後には片側復旧」 京丹後

2011.06.04 朝刊 20頁 地方版 (全428字)

この記事を印刷

先月末の大雨による土砂崩れのため、京丹後市弥栄町野間地区に通じる主要な府道など2路線が通行止めになっており、府丹後土木事務所は3日、道路状況に関する住民説明会を開き、1路線の復旧の見通しを示した。

通行止めになっているのは、野間地区と弥栄町黒部地区を結ぶ府道浜丹後線と、丹後町上野地区に通じる丹後縦貫林道。両道路とも土砂崩れや道路の陥没のため30日から不通になり、地区外に通じるのは府道井辺平線のみになった。

現在、野間地区では93世帯213人が生活をしているが、迂(う)回路の府道井辺平線は山中を走り、道幅も狭いため、高齢者向けのデイサービスの送迎が休止されるなど影響が出始めている。

住民説明会は、野間基幹集落センターであり、同土木事務所の職員が通行止めの現状を報告。復旧の時期については、「浜丹後線はおおむね10日後に片側通行できる見通し」などと説明した。(片村有宏)

大雨で土砂崩れ、陥没 京都府北部 通行止め相次ぐ

2011.05.12 朝刊 25頁 本版 (全996字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

活発な前線の影響で日本列島は11日も、広範囲で大雨が続いた。京滋では夕方から大雨警報が発令され、府北部を中心に土砂崩れや道路陥没、倒木などによる通行止めが相次いだ。

京都地方气象台などによると、降り始めからの雨量は12日午前0時現在、綾部市故屋岡町で175ミリ、南丹市美山で170ミリ、京都市右京区京北で161・5ミリ。

この雨で、綾部市和木町の市道で斜面が高さ6メートル、幅16メートルにわたって崩れ、土砂が道をふさいだ。舞鶴市浜でも、満潮橋東側の潮路通が直径約1メートル、深さ最大約1・3メートル陥没。府道は、舞鶴市行永ー綾部市五泉町間の約10キロ、福知山市大江町毛原ー宮津市岩戸間の約9・2キロなどが通行止めになった。

鉄道も、JR山陰線の養父―福知山と綾部―立木間などで運転を見合わせるなど、ダイヤが大きく乱れた。福知山市夜久野町今西中では、2世帯の高齢者3人が川の増水のため地区内の公共施設に自主避難した。

滋賀県内では11日午後、24時間総雨量が米原市で123ミリ、長浜市と彦根市で118ミリと、5月としては観測史上最多を記録。北陸自動車道の米原―木之本インターチェンジ間などが通行止めとなったほか、JRの湖西線と草津線の一部で徐行運転した。

国交省琵琶湖河川事務所は、琵琶湖の水位が基準を上回ったため、11日午後3時から瀬田川洗堰（大津市）を全開放流にした。全開操作は昨年7月以来。

警戒呼び掛け 気象庁

気象庁は11日、西・東日本は12日にかけて、東日本大震災被災地の東北は12日夜以降、大雨の恐れがあるとして、警戒を呼び掛けた。

台風1号は、沖縄と奄美を風速15メートル以上の強風域に巻き込み東寄りに進んだ。12日、熱帯低気圧に変わる見込み。土石流の危険性がある霧島連山・新燃岳（宮崎、鹿児島県）周辺では、12日夕までの24時間に100ミリの雨が予想される。気象庁によると、西・東日本の60地点以上で24時間雨量が5月として観測史上最多を記録した。本州付近に停滞する前線に、台風1号から変わった熱帯低気圧から空気が流れ込み活動が活発になる見込み。

山科などで停電

11日午後2時55分ごろ、京都市山科区御陵の約500世帯が停電し、約50分後に復旧した。また午後8時20分ごろ、京都府南山城村北大河原の約450世帯が停電し、約1時間10分後に復旧した。関西電力が原因を調べている。

【項目 2】

◎住民避難や通行止め 台風12号 丹波にも影響

2011.09.05 朝刊 20頁 地方版 (全338字)

この記事を印刷

台風12号は4日未明、日本海へ抜けた。丹波地方は4日も断続的に雨が降り、住民の避難や道路の通行止めなどの影響が出た。

南丹市などによると、美山町の小湊公民館と市八木支所で、計4世帯4人が4日午前中も自主的に避難した。山間部で倒木などもあったが、けが人はなかった。亀岡市などによると、4日午前10時半ごろ、千代川町の民家裏手の山から石(高さ約30センチ、幅約50センチ)が落下した。高さ約1・5メートルから斜面を滑り落ちた。けが人や家屋への被害はなかった。

府道京都広河原美山線は京都市域での雨量が規制値を超えたため、4日午後6時現在、市境付近で通行止めになっている。

トロッコ列車は4日、通常通り運行した。保津川下りは増水のため運航中止。5日も運休する。(山下悟、西河公嗣)

【項目 3】

◎大雪 物流停滞 市民生活に影響 舞鶴・志楽小 給食食材届かず

2012. 01. 25 朝刊 22 頁 地方版 (全 548 字)

この記事印刷

大雪に見舞われた府北部の日本海沿いでは 2 4 日、幹線道路の大渋滞や物流の停滞、ごみ収集の遅れなど、市民生活に影響が出た。(29 面参照)

舞鶴市の路線バスは終日ダイヤが乱れ、朝の通勤通学時間帯の JR 西舞鶴駅はマイカーやバス利用を断念した会社員や高校生らで混雑した。

渋滞の影響で物流も滞った。同市小倉の志楽小では給食の食材が届かず午前中で児童を下校させた。西地区の国道沿いのコンビニでは弁当を積んだトラックが予定時間に到着せず、正午すぎに弁当やおにぎりの陳列棚は空に。来店者は「この雪では仕方がない」とあきらめ顔だった。市内約 8 3 0 カ所で予定されていたごみ収集は、作業を 2 時間半延長して対応した。

府漁連舞鶴市場(同市上安久)は競りの開始を 1 時間半遅らせたが集荷は鈍く、約 2 0 漁協のうち 2 漁協のみの出荷となった。

宮津市や京丹後市などでは、山間部を中心に倒木による通行止めが相次ぎ、一部の高齢者福祉施設は安全のため利用者の送迎を見合わせた。

宮津市の天橋立ケーブルカーの運行開始が除雪作業で約 1 時間遅れたほか、天橋立観光協会には積雪状況を尋ねる電話が十数件あった。(石川健一郎、葦原裕、岸慶太)

◎京都府北部 今冬一番の大雪 通行止めや運休相次ぐ

2012. 01. 24 夕刊 1 頁 本版 (全 661 字)

この記事印刷

強い寒気が流れ込んだ 2 4 日朝、京都府北部はこの冬一番の大雪となった。鉄道や高速道路などは運休や通行止めが相次いだ。(9 面に関連記事)

舞鶴海洋气象台や府によると、2 4 日朝の積雪は舞鶴市で 2 9 センチ、山間部の宮津市上世屋で 1 7 9 センチとなり、いずれもこの冬最大の積雪を観測した。

J R 山陰線と舞鶴線は、綾部市などで雪による倒木が線路をふさぎ、一時運転を見合

わせた。特急「はしだて」など上下線計16本が運休、最大3時間半の遅れが出た。

舞鶴若狭自動車道は、福知山IC（インターチェンジ）－大飯高浜IC（福井県おおい町）で上下線が通行止めとなった。

舞鶴市では雪の影響で、前夜から朝にかけて、市内9地区約400戸が停電し、一部は復旧した。市東南部の山あいにある白滝、岸谷両地区など計55世帯が、集落に続く市道が倒木で通行止めとなり孤立。市は午前10時20分に災害対策本部を設立し、住民の安否を確認するとともに、復旧作業を進めている。

東西の市街地を結ぶ国道27号や府道小倉西舞鶴線（白鳥街道）では、渋滞が発生。スリップしたり、立ち往生する車が相次いだ。

大雪警報が発令されたため、府教委によると、南丹市以北の小・中・高校と特別支援学校計110校が休校した。

京都地方気象台は、25日午前6時までに府北部でさらに20センチ～50センチの積雪を予想している。（石川健一郎、辻智也、梶井進）

【項目 4】 —————

◎亀岡、府道通行止め 土砂崩れ

2012. 04. 13 夕刊 9頁 本版 (全108字)

この記事印刷

京都府南丹土木事務所は12日夜から、府道枚方亀岡線で、亀岡市上矢田町から東別院町までを全面通行止めにした。

同市古世町で山から土砂が崩れ、長さ約20メートルにわたって府道をふさいだため。同事務所が復旧を急いでいる。

【項目 5】

◎台風 18 号 京滋に爪痕 丹波 国道 9 号が 7 時間不通

2013. 09. 17 朝刊 23 頁 本版 (全 502 字)

この記事印刷

亀岡、南丹、京丹波の丹波 2 市 1 町では、床上浸水 131 戸、床下浸水 400 戸などの被害が出た。JR 山陰線は冠水して運行を見合わせ、国道 9 号なども通行止めになり、京都市内と約 7 時間不通になった。

南丹市園部町横田では園部川が決壊し、公民館に避難した住民が園部消防署などに救助された。同町上木崎町では、ため池が増水して住宅地に水があふれた。高齢者福祉施設「長生園」にも流入、1 階が水につかった。

JR 亀岡駅（亀岡市追分町）北側も水びたしになり、府の球技専用スタジアム建設予定地は湖のようになった。同駅は、ホームまで水が押し寄せた。道路も国道 9 号は老ノ坂峠が早朝から正午まで通行止めとなり、観音峠も土砂崩れで通れなくなった。京都縦貫自動車道も止まり、9 号は終日渋滞した。

保津川下りの船 80 隻は流されず、無事だった。亀岡市保津町の乗船場や事務所は水につかったため、船頭らが清掃作業に追われた。湯の花温泉（同市＝田野町）では、ホテルの駐車場で土砂が崩れたり、倒木が観光バスに当たった。

亀岡市内では桂川の水が浄水場の取水口に流れ込んだため、午後 3 時～4 時半ごろ、約 1 万世帯で断水した。

◎交通寸断「陸の孤島」に 台風 18 号 丹波 2 市 1 町に大被害 堤防決壊、住宅が浸水

2013. 09. 17 朝刊 18 頁 地方版 (全 1,204 字)

この記事印刷

台風 18 号は、丹波 2 市 1 町にも大きな被害をもたらした。保津川（桂川）や園部川などがあふれ、多くの住宅が浸水した。幹線道路など交通網が一時寸断され、物流も途絶えるなど、まさに「陸の孤島」と化した。

【浸水・流出】南丹市園部町横田では園部川堤防が決壊。住宅地は水浸しになり、屋根まで水につかった車もあった。川勝納さん（78）経営の商店には、子どもが頭までつかるとの水が押し寄せたという。「午前 2 時ごろから水が増え、9 時くらいまで引か

なかった。水が来ても床下程度だと思っていた。震災にあった人の気持ちが分かった」と恐怖を振り返った。同町上木崎町でも、ため池の水が住宅地にあふれた。消防団が土のうを積んだが、高齢者福祉施設「長生園」の1階が水につかった。職員は「以前にも浸水し、排水設備を整備したが、それを上回る水の勢いだった」と語った。

同市美山町下平屋では、美山川（由良川上流域）沿いに建てられていた別荘9棟が濁流によって流出した。けが人はなかった。

【避難】多くの住民が、行政などの呼び掛けで避難した。ピーク時、亀岡市で184人、南丹市で885人、京丹波町で154人が公民館などに身を寄せた。亀岡市役所に避難した小川勲さん（71）は「午前3時ごろに、近くを流れる曾我谷川があふれそうなを見て、慌てて避難した。大雨の中を歩き、全然寝ていないし疲れた」と話していた。

【交通寸断】道路は国道9号老ノ坂峠が約7時間通行止めとなり、並行する京都縦貫自動車道も不通になった。さらに国道9号の観音峠、372号や423号も土砂流出や倒木で通行止めとなった。JR山陰線も不通で、丹波地域は一時孤立した。

輸送トラックも止まり、午前中、スーパーやコンビニエンスストアでは空き棚も見られた。スーパーマツモトでは、卵や牛乳といった日配品の配達に滞ったが、「前日に多く入荷していたものもあったので、大きな混乱はなかった」とほっとした様子だった。

【市民生活】亀岡市では、浄水場の取水口が浸水したため、東つつじヶ丘、西つつじヶ丘、篠町、三宅町など市東部の約1万世帯で、午後3時から断水し、同4時半ごろ、低水圧ながら復旧した。市は近隣自治体から応援も得て計7台の給水車を走らせた。南丹市美山町の知井地域では、川沿いの電柱が濁流で倒され、早朝から約10時間、1223世帯で停電した。

【項目 6】

◎倒木が電線切断 通行止めや停電 山科の三条通

2013.10.17 朝刊 27頁 本版 (全323字)

この記事印刷

16日午後6時10分ごろ、京都市山科区日ノ岡夷谷町の三条通で、道路沿いの山の斜面の木が倒れて電線を切断し、三条通をふさいだ。けが人はなかった。この影響で一時通行止めや停電が発生した。

山科署によると、高さ20～30メートルの木が、三条通（片側2車線）を横断するように根こそぎ倒れた。倒木の撤去作業のため三条通が一時通行止めになり、渋滞が起きた。

また電線の切断で同区川田、北花山、日ノ岡、御陵の約2千世帯が一時停電した。

近くの会社経営北倉登美雄さん（63）は「夕方は交通量の多い道なので、車や人が下敷きにならなくてよかった」と話していた。

【項目 7】

◎土砂崩れのため 菅坂峠通行止め

2014. 03. 18 朝刊 26 頁 地方版 (全 162 字)

この記事印刷

府中丹東土木事務所は 17 日、土砂崩れのため、舞鶴市と綾部市をつなぐ菅坂峠（府道舞鶴和知線）を通行止めにした、と発表した。

事務所によると、16 日夜、舞鶴市行永で土砂や樹木が崩落し、道路が完全にふさがれた。通行止めの区間は舞鶴市行永ー綾部市水梨の約 10 キロ。現在も土砂や岩の崩落が続き、工事に入れない状態で、復旧時期は未定。

◎菅坂峠、通行止め長期化 舞鶴ー綾部間 土砂崩れ復旧めど立たず 生活、観光面に影響

2014. 04. 03 朝刊 21 頁 地方版 (全 713 字)

この記事印刷

舞鶴市と綾部市を結ぶ府道舞鶴和知線の菅坂峠で、通行止めが続いている。通勤や買い物で住民の利用も多いが、3 月から土砂崩れを繰り返し、復旧のめどがたっていない。「海の京都」の一環で府が PR するサイクリングロードも完走できない状態で、観光にも影響が出ている。

同線は 3 月 16 日に舞鶴市行永の山間地で土砂と倒木が道をふさぎ、25 日に再び 1 メートル大の岩など大量の土砂が崩落した。当初は 4 月末からの大型連休前に復旧予定だったが、崩落が続く危険な状態で、通行止めは長期化する見通し。

峠に近い綾部市中上林地区から舞鶴市へ通勤、通院する住民も少なくないが、峠から西へ向かう別の府道も昨年 9 月の台風で土砂が崩れ、国道 27 号まで遠回りしている。同地区自治会連合会の岸本章三会長（76）は「4 倍近い時間がかかる。いつまで我慢するのか。情報もない」。

観光施設「あやべ温泉」（睦寄町）の桑谷和宏取締役（54）は「舞鶴の利用客が 3 分の 1 を占め、客は 2 割も減った。迂回（うかい）路を案内しても『遠いなあ』と切られる。死活問題だ」と嘆く。

府は舞鶴、綾部、福知山の 3 市の名所を巡るサイクリングコース「京都ゆラリー」（1 周 100 キロ）を PR するが、菅坂峠もコースに入っており、3 月 21 日の初の試走イ

ベントはコースを変えた。

舞鶴市内では他にも府道3カ所で通行止めが続く。府中丹東土木事務所は「迷惑をおかけしているが、二次災害の恐れもあり、前に進まない。復旧に全力を尽くす」としている。(竹下大輔)

【項目 8】

◎台風被災 住民ら「またか」

2014. 08. 12 朝刊 22 頁 地方版 (全 1,800 字)

この記事を印刷

10日に近畿地方を通過した台風11号は、丹波2市1町にも大きな被害をもたらした。けが人はなかったが、昨秋の台風18号豪雨で崩れ、復旧半ばの道路が再び被災。2年続きで水につかった地域もあり、住民からは「またか」とため息混じりの声が聞かれた。(小池直弘、細谷周平、久保田昌洋)

エノキ倒れ民家破損

【亀岡市】本梅町平松では午後0時半ごろ、グリーンタウン区の集会所裏山が幅10メートル、高さ15メートルにわたって崩れた。住民によると、1階平屋建ての建物はガラスが割れ、マツや土砂が窓に迫っているという。集会所は一時避難施設に指定されていたが、発生時に避難者はおらず、けが人はなかった。第一発見者の女性(34)は「ゴーとものすごい音がして、気づいたらすでに崩れていた。初めてのことで怖かった」と話していた。

大井町では高さ17メートル幹周り3メートルのエノキが倒れ、民家の軒先の一部が破損した。市の「亀岡の準名木」に認定されている木で、樹齢は100年以上だったという。近くの男性は「明け方ごろに吹いた突風で、根元から折れた」と話していた。

保津川では氾濫危険水位(4.5メートル)を超え、午後3時ごろに最高4.99メートルまで達した。

1週間以上の運休が決まった「保津川下り」の乗船場(保津町)では、11日早朝から船頭が泥かきや流木の撤去に追われた。嵐山までの航路には大量の岩や土砂が流入しているとみられ、保津川遊船企業組合は「安全確認に何日かかるかめどが立たない」としている。

同組合によると、お盆期間は紅葉シーズンと並ぶ繁忙期で、例年は1日70~100隻、3千人近い乗客でにぎわうという。昨年も台風18号の影響で約2週間運休したばかり。工藤正代表理事は「毎年の災害で被害は大きい」と残念がった。

同市によると、市内では3戸が床上、12戸が床下浸水した。東別院町など7カ所で土砂崩れが発生した。

園部能勢線で再び崩落

【南丹市】昨年、広範に床上浸水が発生した園部町横田で午後1時半すぎ、園部川があふれて1戸が床上、3戸が床下浸水した。水をかき出していた会社員男性（45）は「雨が小降りになって大丈夫かと思った矢先に、水かさがじわじわと上がった。今回は床下で済んだが大雨のたびにこうなるのは困る」と話した。

同町宋人の本梅川では正午すぎ、昨年の台風18号豪雨で決壊した堤防の約150メートル上流で堤防が約18メートルにわたって崩れた。決壊の恐れがあるため、府南丹土木事務所が崩落箇所に入土を入れるなどの応急処置をした。住民約40人は一時近くの摩気小に避難した。大坪正秋区長は「堤防が切れたら学校まで水につかる。何とか持ってほしい」と祈るような面持ちで作業を見つめた。

同町仁江の園部川沿いを走る府道園部能勢線でも、昨年崩落し大型土のうを積んでいた箇所が、再び長さ15メートル幅3メートルにわたって崩れ、全面通行止めになった。府南丹土木事務所によると、10月から復旧工事に着手する予定だったという。

同事務所によると、同市内ではほかにも国道477号（南丹市八木町神吉－京都市境）や府道京都広河原美山線（南丹市美山町佐々里－京都市境）など、国道と府道3路線が土砂崩れや倒木で通行止めとなっている。

市によると、他にも園部町黒田で2戸が床上浸水、同町河原町や日吉町佐々江などで14戸が床下浸水したほか、八木町の東所川が氾濫し田畑が水につかった。2カ所で土砂崩れ、市道3路線で倒木が発生した。

2 河川氾濫 19戸が床下浸水

【京丹波町】須知川と高屋川が氾濫し、須知などで19戸が床下浸水した。府道篠山京丹波線では土砂崩れが発生。下山では民家の外壁の一部が突風で剥がれ、隣家の窓ガラスを直撃して割れる被害もあった。

-

【項目 9】

◎豪雨被害 福知山—綾部 I C 間 22 日に通行止め解除 舞鶴若狭道

2014. 08. 20 朝刊 18 頁 地方版 (全 250 字)

この記事印刷

豪雨による土砂崩れで通行止めが続いている舞鶴若狭自動車道の福知山インターチェンジ (I C) —綾部 I C 間について、西日本高速道路は 19 日、通行止めの解除が 22 日になるとの見通しを明らかにした。

同自動車道は、大阪や神戸方面から丹後への観光に利用する車も多い。舞鶴市の舞鶴観光協会と道の駅「舞鶴港とれとれセンター」によると、現時点ではツアーのキャンセルなど目立った影響は出ていないが、同協会の斎藤友幸会長 (64) は「お盆のピークは過ぎたが、影響が心配。一日も早く復旧してほしい」と話していた。(芝田佳浩)

◎京都府北部で記録的豪雨 福知山市街 冠水 土砂崩れ 家屋損壊 1 人死亡

2014. 08. 18 朝刊 1 頁 本版 (全 917 字)

この記事印刷

停滞前線の影響で、京都府北部は 16 日深夜から 17 日未明にかけて記録的な豪雨に見舞われた。福知山市では 24 時間降水量が 303.5 ミリと観測史上最多となり、土砂崩れが相次いだほか、市中心部の川があふれるなどして商店街や住宅街が広範囲に浸水、1 人が死亡した。福知山市は全 3 万 5 774 世帯に避難勧告を、綾部市は 712 世帯に避難指示を出した。府は福知山市に対し、避難所運営や被災住宅の応急修理などに掛かる費用を原則全額支援する災害救助法の適用を決めた。(21 面に写真グラフ、22、23 面に関連記事)

福知山市は京都府知事を通じ、自衛隊の災害派遣を要請した。

福知山市の飲食店駐車場に止まっていた軽乗用車から男性 (24) が見つかり、死亡が確認された。福知山署は川からあふれた水が車内に入り込んだとみている。16 日夜に京都市右京区京北の用水路で会社員が死亡しており、豪雨による府内の死者は計 2 人となった。

避難勧告は、舞鶴市の 1927 世帯にも出された。各市によると、ピーク時に福知山市で 350 世帯 802 人、綾部市で 85 世帯 240 人が避難した。

福知山市では弘法川や法川などが氾濫し、旧市街地一帯が冠水した。市役所南側の堀

地区は約1・2メートルも水に漬かり、自衛隊員や消防隊員がボートで住民約130人を救助した。

同市内では土砂崩れによる建物被害や道路の通行止めも各地で頻発。同市の聖佳町地区で民家1戸が損壊し、住人の女性が病院に運ばれた。岩間の国道175号で土砂崩れがあり、車2台、幼児2人を含む計5人が取り残されたが、府警が救出した。長田野の国道9号では約50メートルにわたってのり面が崩れ、復旧作業が続いている。

福知山市と綾部市で床上・床下浸水が多数出ているが詳細は分かっておらず、確認を急いでいる。

京都地方気象台によると、綾部市でも24時間降水量が8月最多となる230ミリを記録したほか、舞鶴市で129ミリとなった。

【項目 10】 _____

◎市民ホール浸水 13カ所通行止め 京都府北部豪雨で綾部

2014.09.06 朝刊 26頁 本版 (全420字)

この記事印刷

京都府北部に4日深夜から5日未明にかけて降り続いた豪雨で、綾部市は5日、市民ホール（宮代町）が床上浸水したほか、東山町や旭町などで約60戸が断水、土砂崩れなどで府道や市道の計13カ所が通行止めになったと発表した。

同市災害対策本部などによると、床上浸水は市民ホールのほか民家4戸、床下浸水は20戸以上あり、確認を急いでいる。全1万4020世帯に出していた避難勧告を昼前に解除したが、安国寺（安国寺町）西側の斜面が崩れているのが見つかり、5日午後7時35分に再び21世帯37人に避難勧告を出した。

JRは、始発から運転を見合わせていた山陰線の園部－福知山間、舞鶴線の綾部－東舞鶴間、福知山線の篠山口－福知山間が午後3時24分から順次再開。この間、京都や大阪と府北部を結ぶ特急など計136本が運休、1万1500人に影響が出た。高速道路は一部区間が通行止めだった舞鶴若狭自動車道、京都縦貫自動車道が午後4時までに開通した。（長尾康行、竹下大輔）

【項目 1 1】

◎橋水没 道路に土砂 台風 1 9 号 被害まとめ 京都府北部の各地 1 8 9 世帯が一時避難

2014. 10. 15 朝刊 26 頁 地方版 (全 912 字) この記事を印刷

台風 1 9 号が接近した 1 3 日夕刻から 1 4 日未明にかけ、府北部で土砂崩れや河川の増水が相次ぎ、交通や生活に影響が出た。1 0 年前に大きな被害を出した 2 0 0 4 年台風 2 3 号と進路も似て、住民は不安を募らせた。各地の避難所に一時、府北部で計 1 8 9 世帯 2 7 7 人が身を寄せた。

与謝野町下山田では 1 3 日午後 5 時ごろ、民家の石垣が高さ 2 メートル、幅 5 メートルにわたり崩れ、円柱形の庭石 (直径約 1 メートル) が隣家の倉庫内に転落した。けが人は無かった。民家住人の男性 (4 4) は『ガラガラ、ドーン』という大きな音が突然聞こえた。早く直さないと、さらに崩れるかもしれない、不安」と話した。

河川の増水に伴い 1 3 日午後、福知山市は牧川流域の 2 地区、京丹後市は、川上谷川 (久美浜町) と福田川 (網野町) 流域の 1 2 地区に避難勧告を出した。

府北部での避難者は福知山市で 8 8 世帯 1 4 2 人、綾部市 8 世帯 9 人、舞鶴市 2 7 世帯 3 7 人、宮津市 3 2 世帯 4 5 人、京丹後市 2 2 世帯 2 6 人、与謝野町 1 2 世帯 1 8 人にのぼった。

8 月豪雨で自宅が床上浸水し、福知山市駅前町の市民交流プラザに身を寄せた山本八重子さん (6 9) は「また浸水するかもしれないと心配で避難した。台風が多くて不安が尽きない」と疲れた表情で話した。

交通にも支障が生じた。由良川の増水で在田橋 (福知山市大江町) が水没したのをはじめ、陥没や土砂崩れで、府道綾部大江線 (同町)、京丹後市網野町掛津の市道などが一時、通行止めになった。宮津市小田では午後 8 時ごろ、斜面が高さ 5 メートル、幅 9 メートル崩落し、土砂が市道をふさいだ。市職員と現場を確認した小田自治会長の彦坂好幸さん (6 5) は「1 0 年前の台風 2 3 号災害でも同じ場所が崩れ、危険だと思っていた。普段よく使う道でもあり、対策が必要だ」と心配そうな表情を見せた。

農業、漁業への影響も出ている。舞鶴市では由良川沿いの農地 2 9 ・ 5 ヘクタールが冠水、一部地域で収穫前の小豆が被害を受けた。田井漁港で高波を受けた漁船が岸壁にぶつかり、一部損傷した。

【項目 1 2】 -----

◎府道舞鶴宮津線 通行止めを解除 2日から

2015. 01. 27 朝刊 22頁 地方版 (全123字)

この記事印刷

府中丹東土木事務所は26日、地すべりによる土砂崩れで通行止めになっていた舞鶴市八戸地の府道舞鶴宮津線について、2月2日午後3時に規制を解除し、片側交互通行にすると発表した。

地すべりは昨年2月19日に発生。のり面の補強を行う応急復旧が終了した。

【項目 1 3】

◎ 5キロ圏の舞鶴・中山間地 大雪時の避難 募る不安

2015. 02. 12 夕刊 1 頁 本版 (全 784 字)

この記事印刷

8日から10日にかけて大雪に見舞われた舞鶴市。高浜原発（福井県高浜町）に近い中山間地では、市街地の倍、70センチほどの積雪になり、住民は原発事故時の避難に不安を募らせていた。

10日、原発5キロ圏内の杉山地区をめざした。地区に向かう市道には除雪車が入っていたが、両側に雪が迫り、車1台がやっと通れるほど。坂道は凍結、四輪駆動に切り替えてようやくたどり着いた。住民によると、坂道の手前に車を置いて歩いて帰宅することもあるという。

同地区には約50人が住んでいる。市の避難計画では、自家用車での避難に加え、市がバスを向かわせる。多々見良三市長は「状況を見て必ず対応する」というが、道路が使えない場合の具体策はない。

「市長さんが言うなら信じるしかないねえ」。屋根の雪下ろしをしながら中村黎子さん（80）は苦笑いし、「杉山から出ても、そのあと逃げられるの?」。国道27号で兵庫県か京都府南部に避難する計画だが、9日朝には市街地で大型トレーラーが1時間近く立ち往生して、渋滞が続いた。

原発から約8キロの同市野原地区では、2013年の台風18号の豪雨で市街地と結ぶ道路2本が土砂崩れなどで通れなくなり、丸1日孤立した。福島原発事故のような自然災害と原発事故が重なる複合災害への対応は、本当にできるのか。

市内の5キロ圏の住民に昨年未、安定ヨウ素剤が配られたが、国も関西電力も「地元」として認めない。潮見清重さん（75）は「声を上げて聞いてくれない」と怒りを押し殺す。

杉山と市街地を結ぶもう1本の道は雪に遮られ、市の除雪車も方向転換した。委託業者の男性は「ここから先は除雪しないから通行止めやで」。この日、杉山の避難道は1本しかなかった。（竹下大輔）

【項目 1 4】

◎原発避難「想定甘い」 滋賀県計画「主要道路1カ所寸断」←→熊本は160区間 「被ばく恐れ」住民訴え

2016.04.26 京都新聞朝刊 28頁 本版 (全1,407字)

熊本県の地震被害が拡大する中、原発事故時の避難計画を不安視する声が滋賀県内で上がっている。大津地裁が先月、関西電力高浜原発3、4号機（福井県高浜町）の運転差し止めの仮処分決定を出したが、理由の一つとして避難計画の不備を指摘した。熊本では道路が多数寸断されたが、滋賀県の避難シミュレーションでは主要道路の寸断は1カ所だけしか想定していない。大津地裁に申し立てた住民からは「熊本の例を見ると、想定通りには避難できない」と、あらためて各原発の稼働停止を訴えている。（久保田昌洋）

熊本県などでは高速道路を含む道路が、土砂崩れなどにより、一時約160区間で通行止めとなった。九州新幹線も約130カ所で損傷が見つかり、全線再開に至っていない。

九州電力川内原発（鹿児島県薩摩川内市）の避難計画では、自家用車による住民避難を前提にしているが、鹿児島県などは避難手段として2014年にJR九州に新幹線活用を要請した。だが今回、震源域が移動していることや新幹線が使えなくなったことから、市民団体などが九電などに運転停止を申し入れている。

滋賀県は14年、屋内退避が必要となる県版UPZ（緊急防護措置区域）に住む長浜、高島市民計約5万8千人を対象に、交通手段や季節などをふまえ、34パターンを分析したシミュレーションを行った。

その結果、一斉避難の場合、対象住民が避難行動を始めてから、県南部に到着するのに最長約36時間掛かるとした。段階的避難の場合、30キロ圏内の住民約1万6千人が最長14時間、30キロ以遠の約4万2千人が翌日に避難すると最長15時間10分で終える計算だった。

ただ道路寸断は、国道161号の白髭神社付近（高島市）が通行不可になるという1パターンでしか算出していない。このパターンでは、山間部を通る国道367、同477号を迂回（うかい）路とし、一斉避難で最長14時間50分で完了するとしている。だが、熊本のように断続的に地震が起きると、両国道も通れなくなり、避難ができない可能性がある。

大津地裁決定では、国や関西電力が避難計画を含んだ安全対策を施すべきと言及した。住民側弁護団は「複合災害時の対策が検討されていない。合理的な避難計画を作るのは不可能だ」と主張。住民代表の辻義則さん（69）＝長浜市＝は「直下型地震で、多くの社会インフラが壊れることが熊本の例でわかった。滋賀でも集落が孤立し、住民が被ばくする恐れがある」と原発再稼働停止を求める。

県原子力対策室は「熊本地震を受けての、避難経路やシミュレーションの見直しは現段階では予定しない。複合災害の場合の避難計画は今後の課題」としている。

実効性ある計画策定は困難

広瀬弘忠・東京女子大名誉教授（災害心理学）の話 熊本地震では大きな揺れや震源が移動するなど想定外の事態が起こっているが、国や自治体の避難計画はどこも楽観的なシナリオだ。全国調査では、原発事故があったら避難指示の前に逃げると答える人が約7割おり、行政が考える段階的避難は不可能だろう。今回も高速道路や橋が落ちており、避難で車が使えないことも考えないといけませんが、最悪の場合は逃げられないこともあり得る。実効性のある計画策定はかなり難しい。

【項目15】

◎土砂崩れ市道ふさぐ 舞鶴・上根 43世帯一時通行に支障

2016.02.11 京都新聞朝刊 18頁 地方版 (全392字)

この記事を印刷

舞鶴市上根の市道別所岸谷線で10日午前8時半ごろ、道路側面の土砂が崩れて道路をふさぎ、通行止めになった。市道は幹線の府道から同市岸谷や白滝を結んでいるが、同日夕まで両地区の計43世帯が車で府道まで出られない状態が続いた。

崩れたのは、側面縦約10メートル、幅約10メートルで、約20立方メートルの土砂が道をふさいだ。土砂の脇を歩くことはできたが、車が通れない状況が続いた。市は約150メートルの仮設道を設置、同日午後5時半に通行止めを解除した。

両地区と市街地を結ぶバスが部分運休になり、自家用車で通勤できない住民もいた。岸谷の大江昭良さん(87)は「バスが通れないと病院に行けなくて困る」と話し、白滝の岡羽英雄さん(71)は「(土砂崩れが)少し時間がずれて、バスが通る時間だったら危なかった」と話した。(加藤華江)

【項目 16】 -----

◎土砂崩れで通行止め 福知山の市道

2016.03.16 朝刊 18頁 地方版 (全129字)

この記事印刷

福知山市は15日、土砂崩れのため市道の一部区間（同市大江町南有路―綾部市西方町、約2キロ）を通行止めにした、と発表した。土砂崩れは幅約30メートル、高さ約30メートルで原因は不明。市は「早急に復旧したい」としている。昨年12月も近くで土砂崩れが起きている。

◎市道の通行止め解除 福知山

2016.04.07 朝刊 18頁 地方版 (全46字)

この記事印刷

福知山市は6日、土砂崩れに伴う市道（同市大江町南有路―綾部市西方町）の通行止めを解除した。

【項目 17】

◎舞鶴で道路の一部崩壊 台風16号 倒木や通行止めも

2016.09.21 朝刊 22頁 地方版 (全419字)

この記事を印刷

台風16号が近畿地方に接近した20日、舞鶴市では府道の一部が崩落し、綾部市や福知山市では、大雨で増水した由良川に架かる橋を通行止めにするなど、各地で影響が出た。

舞鶴市八田の府道舞鶴宮津線では、道路沿いの八戸地川が増水して路肩を削り、道路の一部が崩壊。府中丹東土木事務所は八田一下漆原間の約3・3キロを通行止めにした。ほかにも府は、綾部市の綾部大橋のほか、福知山市では在田橋（大江町）など三つの橋を通行止めにした。

伊根町蒲入では午後3時半ごろ、民家に面したのり面上部から少量の土砂が庭に落ち、1階のガラス1枚が割れた。けが人はなかった。

福知山市観音寺の観音寺では午前7時半ごろ、檀家男性が、境内のもみじの木（高さ約15メートル）が庫裏の土塀に倒れかかっているのを見つけた。小藪実英住職（64）は「行楽シーズンを前に倒れてしまい、残念だ」と話した。

【項目18】

◎丹索2017 大雪、高齢集落に打撃 南丹 倒木や停電で4日間孤立も 行政支援、共助の充実を

2017.01.29 朝刊 22頁 地方版 (全1,080字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

14～16日に府北中部を襲った大雪で、大きな被害を受けた南丹市。市民が「10～20年に一度」と口をそろえるほどの積雪で、交通や電力インフラのまひに伴う集落の孤立、除雪の担い手不足など、人命にも関わる課題が浮き彫りとなった。高齢化や過疎が進む中でも、大規模な雪害に対応できる行政支援や共助態勢の充実が求められている。(森静香)

激しく雪が降り続いた15日深夜、同市日吉町中世木区では倒木と電柱の倒壊により停電が発生。車両も通行不能となり、全域が孤立状態に陥った。

特に深刻だったのが、急傾斜の一本道を上った先にある牧山集落だ。区のほとんどで停電と車両の通行止めが復旧した16日夜以降も、牧山は倒木撤去と除雪に時間を要し、18日夕方まで約4日間にわたって孤立した。

当時は市職員が片道約2時間かけて徒歩で物資を届けるなど、高齢の住民を支援した。集落に住む中川輝男さん(79)は「暖を取る燃料や食糧、携帯電話の充電がどんどん減って不安だった。若い頃は人も多くてみんなで雪かきしたが、今は大雪への対処が難しい」と話す。

同区の谷口洋一さん(63)は「救急車も通れない状況が長く続いたのは、人命に関わる問題。行政と除雪業者が連携し、迅速に動いてほしかった」と訴える。

府南丹土木事務所や市は「水分の多い重い雪で倒木が多発し、各所で道をふさぎ、除雪作業がスムーズに進まなかった」と説明。亀岡市や南丹市園部、八木町で除雪車が出動するのは極めて珍しく、除雪範囲が広範囲に及んだことも大きな負担となったとしている。

市総務課は「今後は断続的に降り続く雪害への対応を、国や府ともより連携し、見直さなくてはならない」と課題を話す。

高齢者宅における除雪支援の必要性も浮き彫りとなった。美山町の知井地区では2週続けて大雪に見舞われ、知見区などで積雪量が1メートルを超過。住民組織「知井

振興会」の要請を受け、市社会福祉協議会は職員や市民などによる雪かきボランティア派遣を決めた。

初日の28日は35人が独居高齢者宅などで作業を行った。29日も約40人が参加する予定で、大人数のボランティアを募っての雪かき支援は、同市で初の取り組みという。

滋賀県では、県災害ボランティアセンターが14年度に雪かきボランティアの登録制度を創設し、個人や団体の約200人が地域の呼び掛けに応じて支援する態勢を整えている。過疎や高齢化が避けられない状況の下、共助の新たな枠組みづくりに向けた行政の姿勢が問われている。

◎3日連続 大雪で混乱 北部で鉄道運休や通行止め、停電 ビニールハウス 66棟が倒壊

2017.01.17 朝刊 20頁 地方版 (全893字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

府北部では16日、大雪でJR山陰線と舞鶴線が始発などから運転を見合わせ、大勢の通勤や通学者に影響した。福知山市では積雪による倒木で道路の通行止めや停電が相次ぎ、ビニールハウスの倒壊が66棟に上るなど3日連続で雪によって混乱した。

JR西日本福知山支社によると、運転見合わせは、山陰線の園部ー和田山、舞鶴線の綾部ー東舞鶴間。綾部ー福知山、綾部ー東舞鶴間は同日午前11時前に再開したが、園部ー綾部間と福知山ー和田山間は同午後7時現在再開していない。

JR福知山駅（福知山市駅前町）では朝、通勤、通学途中の多くの人が足止めを余儀なくされた。午前10時ごろ、勤務先が京都市内の会社員永田勝利さん（22）＝福知山市報恩寺＝は「福知山駅まで来れば電車が動いていると思ったが、もう2時間待っている。ここまで来たら出勤したいが今日は難しいかもしれない」と困惑した表情だった。

京都丹後鉄道では、特急や快速などの一部が運休した。

福知山市や府中丹西土木事務所によると、市内の国道や府道、市道の29カ所で木が倒れ、道をふさいだ。榎峠の国道429号など4カ所の通行止めは17日以降に解

除になる見込み。16日までに積雪でビニールハウス50棟が全壊、16棟が半壊し、車庫1棟が倒壊した。

関西電力によると、積雪による倒木などで、午後5時現在、福知山市の大江町と三和町などで6回、延べ約千戸で停電が発生した。夜久野町では積雪による短時間の停電が相次ぎ、夜久野支所（同町額田）の通信機器が故障したため、午前8時半から約2時間、戸籍や住民票の発行業務ができなかった。

綾部市では、あやべ市民バスが積雪のため一部路線で一時運行を見合わせた。京丹後市内では朝から夕方にかけて、積雪や路面凍結による物損事故が6件起きた。

学校関係では、福知山市で大江中が休校となり、夜久野小、夜久野中、日新中、桃映中の4校で始業開始を遅らせた。綾部市では東綾小と東綾中が休校し、上林小と上林中が下校時間を繰り上げた。工業高や綾部高、綾部高東分校が休校した。

【項目 19】 -----

◎土砂崩れ通行止め 府道久住河辺線

2017.02.26 朝刊 26頁 地方版 (全63字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

府丹後土木事務所は25日、京丹後市大宮町久住の府道久住河辺線で土砂崩れがあり、同線の約3キロを全面通行止めにしたと発表した。

【項目 20】

◎国道 9 号「Wルートに」 亀岡・政財界が要望 大雨時「陸の孤島」解消へ 北陸新幹線の雪辱？

2017.06.30 朝刊 26 頁 本版 (全 954 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

亀岡市の行政や経済界で、京都市と結ぶ国道 9 号のダブルルート化構想が浮上している。大雨などで通行止めになりがちな両市境の老ノ坂を避けられるよう、南側をトンネルで抜く新ルートを設けて災害時の避難路確保や渋滞緩和につなげる狙いだ。そこには北陸新幹線ルートから外れた雪辱を期す思惑も透ける。

構想の概要は、国道 9 号の南を通る京都縦貫自動車道路の篠インターチェンジ（IC）付近－大原野 IC 付近の約 5 キロを直線で結ぶ。篠 IC－9 号と大原野 IC－久世橋通方面は既存道路を活用する。

現在、国道 9 号は老ノ坂で連続雨量が 230 ミリに達すると土砂崩れなどの危険性から通行止めになる。2013 年 9 月の台風 18 号、15 年 7 月の台風 11 号で京都縦貫自動車道とともに止まり、大きな影響が出た。

新ルートは、大雨時の「陸の孤島」の解消を目指して市が検討していたが、北陸新幹線敦賀以西ルートが決まった今春から、経済界を中心に実現を求める声が一気に強まった。1973 年に閣議決定済みだった小浜ルートが外れたショックは大きく、地元には「新幹線がだめなら道路を」の思いがあるという。

京都市とのアクセス道路を巡っては、丸太町通を西に延ばす案もあるが、コスト面や京都市側の渋滞懸念から具体化していない。一方、国道 9 号の新ルートは大部分がトンネルになる見通しから「多くは用地買収が不要で安く早く工事でき、府や国も前向きになってくれるだろう」（経済団体役員）と踏む。2019 年度には亀岡駅北側に府の球技専用スタジアムが完成する予定で、国道 9 号の渋滞対策としても訴える。

桂川孝裕市長はすでに国土交通省に直接要望しているほか、国会議員や府会議員を通じて働き掛けを強めている。経済界も、亀岡商工会議所が本年度事業計画に「Wルートの推進」を初めて盛り込むなど足並みをそろえる。

ただ、連携が不可欠な京都市は堀川通の渋滞対策などを優先する一方、亀岡方面については「将来的なテーマの一つ」（建設局）と慎重姿勢で、実現へのハードルは低くない。

近畿地方整備局京都国道事務所の馬渡真吾所長は、関係者の十分な協議が必要との考えを強調し「まずは老ノ坂の通行止め規制の緩和につながる防災対策を進めたい」との立場を示している。(猪口健司)

【項目 2 1】

◎北部、通行止め相次ぐ 台風 5 号 総雨量 綾部・睦寄 1 9 8 ミリ

2017. 08. 09 朝刊 18 頁 地方版 (全 653 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

台風 5 号が各地で大きな被害を出す中、府北部も 8 日、大雨や強風に見舞われた。避難所に住民が身を寄せ、道路や橋も通行止めになった。

京都地方気象台によると、7 日から大雨や暴風、一部で洪水警報が発令。総雨量は綾部市睦寄町で 1 9 8 ミリに達し、最大風速は京丹後市丹後町間人で 2 4 ・ 7 メートルを記録した。

広域避難所を 4 9 カ所開設した福知山市では 4 カ所で 1 1 世帯 1 7 人が一夜を過ごした。避難準備・高齢者等避難開始発令を受け、7 日午前から夫婦で同市石原 4 丁目の日新地域公民館に避難した田中正輝さん (6 3) = 同 2 丁目 = は 8 日朝、「家が古いので念のため避難した。思ったより雨風はひどくなかったが、家に帰って確認したい」と話した。

綾部市では自主避難所が 1 4 カ所設けられ、7 人が 8 日朝まで過ごした。舞鶴市は自主避難所が 5 カ所で 8 世帯 1 3 人が一夜を明かした。宮津市では避難所が 1 3 カ所開設され、9 人が避難。京丹後市は 4 0 地区の 4 0 3 0 世帯、1 万 2 7 6 人に避難勧告を出し、避難所を計 6 5 カ所開設した。

福知山市では、由良川の増水で冠水するなどした同市大江町の在田橋が通行止めとなった。舞鶴市、宮津市では府道 2 路線の一部区間が規制雨量に達し、京丹後市では網野、弥栄町の府道 2 カ所で冠水し、それぞれ一時通行できなくなった。舞鶴市の府道の念仏峠付近で倒木があり、伊根町では町道ののり面の一部が崩れ、府道脇の木の枝が折れ道路の一部をふさいだ。

【項目 2 2】

◎崖崩れや倒木被害 台風 1 8 号、一部住民避難

2017. 09. 19 朝刊 18 頁 地方版 (全 586 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

台風 1 8 号が 1 7 日夜に京都を直撃し、1 8 日未明にかけ丹波地域も強風や大雨に厳戒態勢が敷かれる中、一部住民が避難所に身を寄せた。けが人はなかったが、一部で崖崩れやビニールハウスの破損などの被害が確認された。

台風接近に伴う暴風や大雨の警報発令を受け、1 7 日夕に 2 市 1 町は自主避難所を開設。京丹波町は午後 5 時半すぎ、土砂災害の恐れがあるとして町内全域の 6 3 7 0 世帯に避難準備情報を出した。各市町とも山間部の一部住民らが避難所で過ごした。

府南丹土木事務所によると、京丹波町広野の府道沿いののり面が約 1 立方メートル崩落し、土砂を除去するため一時通行止めとなった。道路などへの倒木は管内で 6 件相次ぎ、関係者は夜明けから撤去作業に追われた。いずれもけが人や交通への大きな影響はなかった。

府南丹広域振興局の調べで、南丹市日吉町でビニールハウス 2 棟で破損が見つかり、強風の影響とみられる。

京都地方気象台の観測では、台風が通過した 1 7 日深夜は 1 時間 2 0 ミリを超える強い雨を記録。夜半に南丹市園部町で最大瞬間風速 2 0 メートルに達する一方、雨は峠を過ぎ、増水した各河川の水位が徐々に下がり、目立った氾濫はなかった。

府や各市町は、ほかにも被害がある可能性があるとして情報収集を急ぐ。(森大樹、本好治央)

◎台風 1 8 号 京滋被害 京丹後で集落孤立 京都市など 避難勧告 2 1 万人

2017. 09. 19 朝刊 23 頁 本版 (全 504 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

台風 1 8 号に伴う大雨の影響で 1 8 日、京都府では京丹後市や福知山市、与謝野町など北部 4 市 1 町の国道や府道で冠水や土砂崩れが発生し、通行止めとなった。京丹後市丹後町の集落が孤立している。伊根町本庄上では筒川が氾濫した。

降り始めからの雨量は宮津市と福知山市でいずれも 1 9 8 ミリを記録した。

一時、綾部市と与謝野町の3759世帯8459人に避難指示、京都市や福知山市など8市町の9万5780世帯21万8099人に避難勧告がそれぞれ出され、計766人が避難した。

京阪神の鉄道は、18日始発から運休や間引き運転が相次いだ。JR西日本は「サンダーバード号」「きのさき号」など特急25本を運休。府北部でも18日の始発から山陰線の特急と普通列車計96本を運休、午後5時半までに全区間で運転を再開した。福知山線や舞鶴線でも遅れや運転取りやめが発生した。

京都丹後鉄道は、トンネル内に土砂が流入するなどし、宮舞線と宮豊線が終日運休した。宮福線と合わせて計64本が運転を取りやめ、約2600人に影響した。19日も復旧作業の影響で、栗田－宮津（宮津市）間と網野－小天橋（京丹後市）間の運転を休止し、バスによる振り替え輸送を行う。

【項目 23】

◎福知山の国道173号 7日通行止め解除 台風21号で被害

2017.12.05 朝刊 20頁 地方版 (全182字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

府中丹西土木事務所は7日午後3時から、台風21号で沿線に影響があった福知山市三和町大原の国道173号の通行止めを解除する。

のり面が崩壊する恐れがあるとして、11月2日から全面通行止めにしてきた。地滑りを察知する監視装置を設置し、地盤の動きが安定したため解除を決めたが、同事務所は「監視が必要な状況は続いており、道路の警告灯に注意して通行してほしい」としている。

◎丹索2017 倒木被害防止が急務 台風21号1カ月、生活や経済打撃

2017.11.19 朝刊 22頁 地方版 (全1,299字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

台風21号が丹波地域を襲ってから、まもなく1カ月になる。森林が8割以上を占める南丹市や京丹波町では倒木による被害が各地で発生。同市美山町では府道が寸断され、復旧のめどが立たないなど住民生活や地域経済への影響は大きい。「森の京都」エリアの丹波は、「倒木」とどう向き合うべきか。現状と課題を探った。(榊原良、本好治央)

費用負担課題 危険木の伐採進まず

「強風で大量の木が根から抜けて倒れ、山が崩れた。こんな大きな被害は初めて」。同市美山町白石地区の川村明彦区長(54)は肩を落とす。府道広河原美山線には今も通行止めのゲートがあり、通勤やごみ収集などに支障が残っている。

府南丹土木事務所美山出張所によると、現場の倒木や土砂は除去したが、山の斜面50～60メートルにわたって倒木が折り重なり、撤去が困難という。復旧に向けた工法を検討中で、再び通行できるのは春以降になる見通しだ。

このため、府は、並行する佐々里川の対岸に仮設迂回(うかい)路を整備している。21日ごろに開通予定だが、河川の上を渡るため、川村区長は「雪解け時期の増水が不安。一日も早く府道を通れるようにしてほしい」と訴える。

台風は林業にも打撃を与えた。日吉町森林組合（同市日吉町）によると、数十カ所、計30ヘクタールで倒木が発生。美山町のケースと同様、木が重なるように倒れて林道をふさいでいる。小林耕二郎事業課長（38）は「どれだけ倒木被害があるのか想像もつかない。損害額は組合でまかなえるレベルをはるかに超えている」と嘆く。

同台風では美山町で最大瞬間風速25・5メートルと観測史上最大を、園部町で同23・6メートルと10月の観測史上最大を記録し、電線への倒木による停電などライフラインも直撃した。小林課長は「強風の影響はもちろんだが、木の育ち方が悪いと倒れやすくなる」と指摘する。

高品質の木材を作るためには過密気味に植林し、育ってきたら間伐して良質の木だけ残す。組合によると、間伐を怠ると、幹は細いのに枝葉が広がる上、日当たりが良い側と悪い側とで成長の差も生まれ、幹や枝、根の張り方のバランスが崩れ、倒木の原因になるという。

丹波地域は、民家や道路に面した人工林も多い。府南丹土木事務所は、通行への支障や事故の恐れがある危険木の伐採を呼びかけるが、費用が森林所有者の負担となるため、応じる人は少ないのが現状だ。施設保全室の佐々木治室長は「降雪期に、台風で傷んだ木が雪の重みで折れる恐れもある。山林所有者は安全確認に取り組んでほしい」と訴える。

同市は本年度から、豊かな森を育てる府民税（森林環境税）を財源に、危険木撤去費用の補助を始めたが、実際に木が倒れてきた場合と枯れ木のみを想定しており、予防のための伐採は対象外だ。

台風などの自然災害が原因でも、民家などに木が倒れた場合は森林所有者の責任になる。防災や減災の観点からも、危険な木の事前把握と伐採を進める知恵と方策が求められている。

◎国道173号通行止め 福知山・三和

2017.11.03 朝刊 22頁 地方版（全146字）

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

府中丹西土木事務所は2日、**道路ののり面が崩壊する恐れがあるとして福知山市三和町大原の国道173号を全面通行止め**にした。

10月の台風21号の大雨で、道路東側の斜面にできた200メートルにわたる亀裂を確認した。同事務所は「のり面の状態を調べて必要な対策を講じたい。解除時期は未定」としている。

◎住民孤立 不安尽きぬ 台風21号禍 美山・知井地区ルポ 府道崩落、復旧急ぐ
2017.10.25 朝刊 24頁 地方版 (全1,282字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

超大型の台風21号で府道の崩落やライフラインの被害を受け、南丹市美山町北東部の知井地区がほぼ孤立状態に陥っている。電気や水道は少しずつ復旧しているが、住民は不安な思いで過ごしている。道路のあちこちが倒木で寸断された地区に24日午前に入り、取材した。(榊原良)

知井地区に通じる府道は、集落約2キロ手前の同市美山町内久保で、工事など緊急車両以外は通行止めとなっていた。歩いて進むと、川側車線の半分が約15メートルにわたって崩れ落ちており、重機を入れて復旧作業が始まっていた。京都府によると、25日を目標に片側車線だけでも通れるよう仮復旧を急ぐという。

現場近くに、美山診療所の原龍治事務長が立っていた。同地区には、定期的に投薬が必要な人もいる。原事務長は「知井から診療所のある町中心部への道は1本のみ。崩落現場を歩いて来た患者を車で迎え、診療所に連れて行く。23日夜は緊急対応が必要な2人をドクターヘリで搬送してもらった」という。

20分ほど歩き、かやぶき屋根の集落がある同町北にようやく着いた。例年今ごろは秋晴れの景色を楽しむ観光客が多いが、この日は皆無。道行く車も建設会社の軽トラックか、関西電力関連の車両がほとんどだった。

集落内で市関係者の車に乗せてもらい、約8キロ離れた田歌集落へ向かった。道路は山からの水が川のように流れ、土砂が堆積している場所もあった。強風で散ったスギの葉が路面を埋め尽くしていた。田歌から先の道は、木が電線に絡みつくように倒れており、作業員が倒木を撤去しながら電気の復旧作業をしていた。さらに東の芦生、佐々里方面へは倒木が多く、進めない。

24日夕方までに、ほとんどの地域で電気は復旧したが、住民組織の知井振興会によると、倒木や土砂崩れがあちこちで発生し、屋根が飛ばされた家もあるという。長野光孝会長(76)は「芦生の人々は公民館に避難している。停電している上、朝晩が寒いので、今晚のうちに灯油などの燃料を運べないか思案している」と話す。

帰り道、府道の崩落現場近くでは、美山町中の宿泊施設「美山自然文化村河鹿荘」支配人の高御堂厚さんが畳を台車に乗せて運んでいた。屋根が強風で吹き飛び、雨でぬれてしまったという。「24、25日は休館し、予約客も断らざるを得なくなった。26日に再開したいが、道路が復旧しなければ観光客は美山に来ることもできない」と不安そうだった。

一部地域で停電や電車運休 続く

丹波2市1町では24日も台風21号の影響が残った。

関西電力によると、亀岡市曾我部町で約90世帯、南丹市園部町、美山町で約290世帯、京丹波町で約10世帯の計約390世帯（午後5時現在）が停電している。

JR西日本福知山支社は同日、園部―綾部間の電車の運行をすべて見合わせた。線路上の倒木の撤去作業を進め、25日始発から運行再開を目指すという。

◎台風21号 相次ぐ水害 うんざり 京都府北部各地 浸水や土砂崩れ

2017.10.24 朝刊 32頁 地方版 (全1,048字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

超大型の**台風21号**は22日から23日にかけて府北部に浸水や土砂崩れなど大きな被害を出した。(1面参照)

由良川や支流の大谷川、蓼原川などが氾濫した福知山市。市が造成した石原地区の住宅地では約30戸が浸水被害を受けた。住宅地を巡り、住民6人が土地の売買の際に過去の水害の説明や情報提供をしなかったとして、市に対して損害賠償を求める訴訟で係争中。原告の公務員居合克樹さん(39)の自宅は2013年の台風18号に続き、2回目の床上浸水被害。「台風が来るたびに心労がかさむ。河川改修を早く進めてほしい」と願った。

大江町蓼原や二俣周辺では道路冠水により一時、集落が孤立。住民の仁張将之さん(76)は「ここまでの被害は13年の台風や14年の府北部豪雨以来だ」と話した。大江町関の府道綾部大江宮津線では道路陥没で水道管が破裂。22日夜から大江町関や河守、公庄などで最大約660戸が一時断水した。

舞鶴市内では22日午後9時半、西舞鶴地域にある高野川の流域に避難指示が出され、民家や店舗が床上・床下浸水した。23日早朝、車庫の泥を水洗いしていた会社員の男性（65）は「土のうを積んだが、床上まで浸水した。ここ15年で3回目」とうんざりした表情。綾部市では由良川沿いの延町、上林川沿いの八津合町で民家計6戸と家畜診療所などが床上浸水した。

綾部市睦寄町では22日、1日当たりの雨量が280ミリと同町で観測史上最大となり、舞鶴市下福井でも23日午前3時37分に最大瞬間風速39・4メートルを記録。綾部市睦寄町では土砂崩れで古屋集落の2世帯が孤立した。舞鶴市余部上の国道27号ではトンネル東側出口脇の斜面から土砂と水が流れ出した。22日夜から舞鶴若狭自動車道や京都縦貫自動車道が通行止めになり、舞鶴市内では停電もあった。

JR西日本福知山支社は23日、山陰線の園部―東浜間、福知山線の福知山―新三田間、舞鶴線の綾部―東舞鶴間で、始発から運転を見合わせた。京都丹後鉄道も線路の点検で始発から全線が運休、宮舞線と宮福線の線路2カ所で敷石などの流出を確認した。特急など計88本が運行を取りやめ、宮舞線の西舞鶴―四所間は24日以降、復旧作業で運休しバスによる振り替え輸送を行う。

◎台風21号 丹波に爪痕 住宅損壊や倒木相次ぐ

2017.10.24 朝刊 32頁 地方版 (全1,088字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

超大型の台風21号は22日夜から丹波地域を暴風圏に巻き込み、強い風雨が長時間続いた。住宅の損壊や土砂崩れ、倒木、冠水などが相次いだ。停電や交通への影響は23日も続いた。

京都地方気象台によると、降り始めからの雨量（21日午前6時～23日午後3時）は南丹市園部町で240・5ミリと10月平年値の1・5倍、最大瞬間風速は23日午前4時10分に23・6メートルと10月の観測史上最大を記録。中部広域消防組合によると、22日午後6時ごろ、同市八木町で男性（91）が風にあおられて転倒し、頭にけがをした。

亀岡市宮前町では、湯の花平団地裏の土留め用に積まれたコンクリートブロックが幅4メートルにわたって崩落。民家2軒のベランダを壊し、一部が窓ガラスを突き破った。住人の男性（71）は「地震のようなごう音がした。直撃したら命に関わっていた」と胸をなで下ろした。

同市篠町の村山神社では、江戸時代創建とされる八幡宮が倒壊した。裏山の約15メートルのヒノキが強風で倒れ、屋根を直撃したとみられ、上嶋浩嗣宮司（52）は「数年前から木を切って倒木対策をしていたさなかだった」とぼうぜんとしていた。

2市1町は22日夕方までに避難準備情報を出し各地に避難所を開設、計147世帯232人が身を寄せた。京丹波町は本庄など6地区の385世帯952人に避難勧告を発令、上乙見は避難指示に引き上げたが23日午前10時までには全て解除した。

ライフラインも影響を受けた。南丹市美山町内久保では美山川の水が護岸を削り、府道の一部が崩落。同町知井地区では府道広河原美山線が、亀岡市上矢田町では府道枚方亀岡線が、南丹市園部町半田では国道477号線が倒木や崩土、冠水で通行止めとなった。

22日夕方以後、倒木による電線破損などが原因で停電も多発。亀岡市は延べ約7600世帯、南丹市は延べ約8990世帯、京丹波町は延べ約3280世帯が断続的に停電し、23日午後6時現在、2市1町で約2090世帯が停電している。

南丹署によると、南丹市や京丹波町の9カ所の信号機が23日午前4時半ごろから午後3時過ぎにかけて停止し、署員が交通整理に当たった。朝の通勤時間帯と重なり、南丹市八木町の国道9号などで一時渋滞した。（藤松奈美、榊原良、北川裕猛、本好治央）

【項目 2 4】

◎府道枚方亀岡線 ルポ 落石箇所・土のう、離合難しく 高槻のコンビニ、食料品売り切れ

2018.06.20 朝刊 22 頁 地方版 (全 679 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

小学4年の娘が亡くなるなど、多くの被害が出た大阪府高槻市は亀岡市と府道枚方亀岡線で結ばれ、行き来する車も多い。地震による落石のため、一時通行止めとなっていたが、18日夕から解除された。ドライバーが危険を感じないか、19日午後に記者が実際に走ってみた。

午後1時ごろ、亀岡市役所前を出発し、府道へ。落石があった古世町千歳山付近の道路沿いに土のうが積まれていた。運転に慣れた記者でも対向車と離合するのに苦労した。

南丹土木事務所によると、昨年10月23日の台風21号で土砂災害が発生し、12月1日まで通行止めとし、現在も防護工事を続けている。地震発生後に改めて点検したが、「土砂災害などが起こる危険性は低い」という。

「落石注意」の看板が目立つ。思いのほか交通量が多く、道幅の細い箇所が所々にあって慎重に運転した。

20分ほどで高槻市に入り、中心部にも45分ほどで到着し、亀岡市と高槻市の「近さ」を実感した。住宅街を一望すると平穏に見えたが、飲み物を買おうとコンビニに入ると、水やカップラーメン、サンドイッチや弁当は売り切れていた。「お湯は提供できません」との張り紙があり、店員から「断水は復旧したが、濁水していて飲み水には使えない」と返ってきた。

大きな余震の可能性があるが、今後の雨量が懸念されている。南丹土木事務所は「山から濁り水が出てくると、落石に警戒が必要のサインです」と注意喚起していた。(藤松奈美)

【項目 25】

京都府道通行止め解除へ 福知山、あす午後 1 時

2019. 12. 24 朝刊 22 頁 地方版 (全 102 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

府中丹西土木事務所は 23 日、昨年 7 月の西日本豪雨で発生した土砂崩れにより、府道山東大江線の福知山市天座一同市大江町橋谷間 (約 1・5 キロ) で行っていた全面通行止めを、25 日午後 1 時から解除すると発表した。

◎台風や西日本豪雨被害 綾部・旭町土砂崩れ 市が大規模な対策工事方針

2018. 10. 03 朝刊 20 頁 地方版 (全 365 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

7 月の西日本豪雨で綾部市内最大の土砂崩れが起きた同市旭町の現場について、市は 2 日、大規模な対策工事を行う方針を示した。現場を通る市道高津旭線が長雨のたびに通行止めになっているため、11 月以降に工法を決める。

この日の一般質問で市の大槻和正建設部長は「府と協議し、道路に土砂が出ない工法で対処する。工事内容は (11 月以降の) 国の査定で判断されるが、大規模な復旧工事を想定している」と答弁した。

高津旭線は市街地の旧綾部町と上林地域を結ぶ重要な生活道路。西日本豪雨では 7 月 7 日、南側の山から土砂約 8 千立方メートルが崩れ、一部が同線をまたいで北側の集落に流入、民家 1 軒が全壊した。その後応急復旧したが、5 年前にも同規模の土砂崩れが起きており、9 月 30 日～10 月 1 日の台風 24 号など長雨が続くごとに市が通行止めをしている。(八幡一男)

◎西日本豪雨 1 カ月 深い爪痕 京都府内 なお避難生活 舞鶴で土砂災害警戒続く 北部、未復旧の鉄道路線も

2018. 08. 06 朝刊 4 頁 本版 (全 414 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

京都府災害対策本部などがまとめた西日本豪雨の影響によると、5 日時点で舞鶴市の 3 世帯 7 人が避難所生活を続けている。土砂災害の恐れがあるため、舞鶴市と宮津市の 34 世帯 70 人に避難指示が、福知山市、木津川市、精華町の 9 世帯 18 人に避難勧告がそれぞれ継続している。

人的被害は土砂崩れなどで綾部市、舞鶴市、亀岡市で計5人が死亡し、4市町で計7人が水路に落ちるなどして軽傷を負った。住宅被害は3日までに綾部市や福知山市など10市町で全壊13棟、大規模半壊1棟、半壊13棟、一部損壊64棟を確認した。浸水は福知山市や舞鶴市など11市町で床上519棟、床下2143棟となっている。

道路や鉄道の復旧は進んでいるが、**府市町村道の51区間で土砂崩れなどによる通行止めが続いている**ほか、盛り土が崩壊した京都丹後鉄道宮舞線の西舞鶴―東雲間は復旧のめどが立っておらず、代行バスの運行を続けている。

孤立集落や断水などはすでに解消している。(小川卓宏)

◎国道27号規制解除 舞鶴線一部再開へ 西日本豪雨

2018.07.14 朝刊 27頁 本版 (全310字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

国土交通省近畿地方整備局は13日、**豪雨の影響による土砂崩落で全面通行止めと**していた舞鶴市真倉の国道27号の通行規制を、同日午後10時から解除し、**片側交互通行**に変更すると発表した。

また、JR西日本福知山支社も同日、運転を見合わせていた舞鶴線の綾部―西舞鶴間を、14日始発から運転を再開すると発表した。特急「まいづる」も始発から、京都―西舞鶴間で運転を再開する。西舞鶴―東舞鶴間は引き続き運転を見合わせ、代行バスを運行する。

京都丹後鉄道は13日午前から、特急を除いた宮福線（宮津―福知山間）の運行を順次再開。線路の土台流失被害などが確認されている宮舞線（宮津―西舞鶴間）は、引き続きバスによる振り替え輸送を行っている。

◎避難情報遅れ 京丹波 対応に課題 通行止め多く 生活への影響続く

2018.07.14 朝刊 22頁 地方版 (全1,192字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

西日本を中心に大雨特別警報が発令され、丹波2市1町にも被害をもたらした豪雨から1週間が経過した。京丹波町では避難情報の発信が遅れ、住民が危険な避難を強いられ、対応に課題を残した。土砂災害による通行止めが続く道路が多く、市民生活に影響が続いている。(秋田久氏、藤松奈美)

【避難情報】

京丹波町では、急激な降雨により、一部の住民が危険な避難を迫られた。

同町は5日午後7時半に町全域に避難準備・高齢者等避難開始を発令した。民家で浸水や土砂流入の被害が出た上乙見地区の住民たちは6日夜まで集落外の避難所に身を寄せていたが雨が小康状態になったことから帰宅。

ところが7日の未明に急激に雨が強まり、集落を流れる上乙見川の水位が上昇し、町は同日午前6時ごろから消防団を通じて住民に避難を呼び掛けた。

自宅が浸水被害にあった竹内浩さん（63）は妻と近所の一人暮らしのお年寄り2人を乗用車に乗せて豪雨の中を避難。その直後、集落につながる唯一の道が大規模な土砂崩れでふさがれた。竹内さんは「巻き込まれる可能性があったと思うと、ぞっとする」と振り返る。集落外に避難できなかった住民は集落の高台に向かい、降雨がおさまるのを待って消防団員らとともに土砂を乗り越えて集落を脱出した。

近くの細谷の雨量計の時間雨量は7日午前4時が17ミリ、6時が30ミリを記録し、累積雨量は午前8時時点で300ミリを超えた。

国のガイドラインでは避難勧告の目安となる土砂災害警戒情報が7日午前2時に和知地域に、午前3時50分に瑞穂地域に出されていた。にもかかわらず、同町は避難勧告を出さず、午前5時に町職員の態勢規模を41人減の94人に縮小。午前6時45分の大雨特別警報を受けて一転、町全域に避難指示を発令し、町職員を呼び戻して増員した。

町総務課は「職員を休ませるために規模を縮小した。気象条件が急激に変わり、正確な判断が難しかった。今回の対応を検証する」としている。

【道路事情】

大雨で土砂災害が発生し、多くの生活道路が13日現在でも寸断されている。

南丹市の市道西牧山線では道路の一部が土砂崩れで崩壊して、車が通行止めとなった。西牧山地区の孤立状態が続いている。4家族7人が住むが、親族の家に身を寄せ

たり、通行止め区間を歩いて移動し、その先に購入した車を置いて、病院や買い物に行ったりしている人もいる。

南丹土木事務所によると、亀岡市や南丹市の国道や府道の通行止めの規模は「この近年としては大きい」とする。本数が多く、広域にまたがり、復旧が難航し、同事務所は「国の補助も活用して早急に片側通行を目指す」としている。

◎道路寸断 京都府内100カ所 被災1週間 農作物打撃 140ヘクタール被害
2018.07.14 朝刊 1頁 本版 (全886字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

西日本豪雨で5人の死者が出た京都府内の被災地は、水害から14日で1週間を迎える。伊根町全域と6市町13地区で発生した孤立は解消しつつあるが、土砂崩れや浸水の被害を受けた地域では、今なお避難や泥土のかき出しなど、多くの世帯が不自由な生活を強いられている。寸断された道路では復旧作業が進むが、現在も約100カ所・区間が通行止め。収穫期の農作物が打撃を受けるなど、各地で深い傷痕を残している。

府災害対策本部によると、13日午後9時現在、避難指示が舞鶴市や宮津市、亀岡市の計46世帯96人に、避難勧告が福知山市、木津川市、精華町の30世帯69人に発令中で、府内で計81人が避難を続けている。

民家2棟に土砂が流入し、4人が軽傷を負った宮津市の池ノ谷地区では9世帯21人が避難。厳しい暑さの中、市民体育館で不便な暮らしを余儀なくされている。また同市では、府中地区にある成相寺へ向かう市道が損壊し、同寺に住む1世帯2人が徒歩以外では孤立状態となっている。

舞鶴市では、土砂災害の恐れがあるため上福井地区の一部(21世帯52人)に7日から避難指示が出されている。2世帯5人が近くの公民館、他の住民は親類宅などに避難している。解除のめどは立っていない。

京都府内での家屋への被害は、全壊12棟、大規模半壊1棟、半壊6棟、一部損壊41棟。浸水は床上が499棟、床下が2060棟、土砂流入が39棟に達した。1065棟が倒壊や浸水などの被害を受けた福知山市では、由良川沿いで広域にわたり被害が発生。同市大江町では住宅の2階まで水没するなどし、住民やボランティアによる片付け作業が続いている。

収穫期を迎えた農作物への被害も深刻化している。冠水などにより府内で計140ヘクタールの作物が被災。2ヘクタールで夏野菜を栽培する同市戸田の「福山いちごファーム」では収穫間際だったトウモロコシ4万本やスイカなどが全滅。代表の福山壽さん（71）は「年末までどう暮らせばよいか」と肩を落とす。（北部総局取材班）

◎八木町氷所一神吉 土砂崩れ通行止め 府道京都日吉美山線

2018.07.13 朝刊 24頁 地方版（全129字）

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

南丹市八木町氷所の府道京都日吉美山線で12日、のり面が崩れているのが見つかった。府南丹土木事務所は同日、同町氷所から同町神吉まで約2キロを通行止めにした。

同事務所によると、70～80メートルにわたって崩落し、土砂が道路を覆っているという。復旧時期は未定。

◎西日本豪雨 各地の国道 依然通行止め

2018.07.10 朝刊 28頁 地方版（全278字）

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

道路関係では、舞鶴市真倉の国道27号は東側ののり面が長さ100メートル、幅10メートル、高さ15メートルにわたって崩壊し通行止めになり、復旧工事が進められた。

府によると、9日午後5時現在、宮津市の国道178号（里波見一長江間、日置一里波見間）をはじめ、府道の宮津養父線や京丹後市弥栄町の浜丹後線などが崩土などにより通行止めとなっている。

また福知山市三和町大原の国道173号や、府道綾部大江宮津線の宮津市小田や綾部市今田町などでも通行止めとなっている。

◎西日本豪雨 国道175号通行止め 福知山

2018.07.10 夕刊 8頁 本版（全130字）

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

福知山市大江町公庄の谷筋で土砂崩れにより発生した天然ダムの影響で、京都府中丹西土木事務所は10日午前1時から、国道175号の同市下天津から同市大江町河

守までの約4キロの区間を通行止めにした。天然ダム下流域で十分な安全が確保できないため。規制解除の時期は未定。

◎西日本豪雨 京都府北部で交通乱れ

2018.07.08 朝刊 32頁 本版 (全292字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

大雨で運休や遅れが発生していた鉄道は7日に復旧したが、京都府北部は影響が続いている。JR山陰線京都一園部間、東海道線京都一米原間、湖西線山科一近江塩津間が7日午前から順次運転を再開した。一方、福知山線福知山一新三田間と山陰線園部以北、舞鶴線綾部一東舞鶴間は始発から終日運休となった。「はるか」や「サンダーバード」などの特急も運休した。

京都丹後鉄道は8日も全線で運転を取りやめる。

主な道路では、京滋バイパスの通行止めが7日午前に解除されたが、京都縦貫自動車道の丹波インターチェンジ以北は引き続き通行を規制している。国道27号は舞鶴市の一部区間で土砂崩れによる通行止めが続いている。

◎西日本豪雨 道路通行止めで立ち往生

2018.07.08 朝刊 30頁 地方版 (全559字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

福知山市や舞鶴市の由良川沿いの国道では、道路の冠水や土砂崩れ、橋の通行止めなどで通行が困難な状態に陥った。

土砂崩れが発生した下天津地区の道路上では、トラック約10台が立ち往生。東北地方から舞鶴を經由し、福岡に向かっていた本園雅美さん(61)＝福岡県みやま市＝は「納期は月曜なのに困った。車中泊はつらいけれど、地元の人からの差し入れもあり助かった」と話した。

自宅の倉庫が約60センチ浸水した下天津自治会長の岡井学さん(67)は「慣れてはいるけど、やっぱり後始末が大変。土砂崩れも多く、昨秋の台風21号よりも生活へのダメージが大きい」と疲れた様子。6日夜から足止めされている男性(58)は「自宅がすぐそこなのに帰れない。早急に道路の復旧をしてほしい」と困り顔だった。

舞鶴市内では、大浦半島を中心に市道14路線が落石や土砂崩れ、倒木で一時全面通行止めとなった。白鳥トンネル西側付近（同市清道）や同市瀬崎の瀬崎トンネル（同市瀬崎）付近でも土砂崩れが発生。白滝公民館（同市白滝）が土砂で倒壊した。けが人はいなかった。

大雨で孤立状態になった加佐地域では、由良川が大雨で水位が上昇し河川敷の大部分が水没した。舞鶴若狭自動車道や国道27号などの通行止めで舞鶴港第2埠頭（ふとう）（同市松陰）周辺ではトラックが長い列を作った。

◎土砂崩れ、渋滞 生活打撃 京で記録的大雨 JR京都駅 観光客、窓口に列
2018.07.07 朝刊 22頁 本版（全768字）

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

京都市内は6日も終日雨が降り続き、観測史上最大の降水量を記録した京都市右京区京北では道路冠水など被害が相次いだ。幹線道路は渋滞となり、JR西日本は主要路線の運行を見合わせるなど住民生活に大きく影響を及ぼした。

京北西町の野村繁樹さん（68）は自宅裏山で土砂が崩れ、排水溝が詰まっているのを発見した。「50年ほど前に一度土砂崩れしたが、それ以来だ」と驚いたように語った。

国道162号線沿いのコンビニ「ファミリーマート京北周山町店」では、おにぎりや弁当、カップラーメンなどが飛ぶように売れたという。店長の梶谷直弓さん（39）は「夜中に大雨との予報だったので、5日午後10時から6日午前5時まで店を閉めた」と異例の対応で警戒した。

右京区梅ヶ畑では、民家の石垣が崩れ、神護寺の参道が一部ふさがった。市西部土木事務所によると、道幅は約1.5～2メートルの市道で、二次災害の危険があるため通行止めにしたという。

丹波・府北部地域と結ぶ幹線道路は通行止めとなり、亀岡市との境に位置する西京区の国道9号はこの日朝から、配送トラックなど業務車両を中心に長い渋滞の列が続いた。大津市と境を接する山科区と東山・下京両区などを通る五条通（国道1号）も渋滞となった。

多くの路線が運行を見合わせたJR京都駅（下京区）では、勤務先や家族と携帯電話で連絡する人や駅員に問い合わせる外国人観光客の姿があり、タクシー乗り場に長い列ができた。

桂川の水位上昇で観光名所の渡月橋（西京区―右京区）の通行止めがこの日も続き、下流の久我橋（伏見区）では陸上自衛隊員が土のうを積んだ。

◎土砂崩れ 京都府北部4人不明 西日本豪雨 高島で流され1人死亡 全国15人死亡 心肺停止1人 50人超不明

2018.07.07 夕刊 1頁 本版（全1,405字）

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

西日本を中心に7日も記録的な大雨が続き、土砂崩れや水害から人や車の救助を求める通報が相次いだ。5日以降、全国で15人が死亡、1人が心肺停止状態で見つかった。安否不明者は京都府や広島県などで50人以上に上るが、さらに増える可能性がある。気象庁は災害に最大級の警戒を呼び掛けた。大雨特別警報が発表された京都府北部では7日に民家の住人が土砂崩れに巻き込まれる被害が相次ぎ、綾部市で3人、舞鶴市でも1人が行方不明になり、府が自衛隊に災害派遣要請を行った。高島市安曇川町では1人が用水路に流されて死亡した。（8、9面に関連記事）

京都府内では7日正午までに、増水した川に車で転落した亀岡市の女性（52）が死亡したほか、4人が行方不明となり、6人が軽傷。同日午前6時現在、避難指示は9市2町の約54万3千人、避難勧告は9市5町の約7万7千人に出された。また滋賀県でも、高島市安曇川町の福井城久治さん（77）が用水路に詰まった草や木を取り除く作業中に流されて死亡した。

綾部市上杉町で同日午前4時20分ごろ、土砂崩れが発生、民家2軒が倒壊するなどし、住人の男女3人が行方不明になった。綾部署などによると、不明者は稲葉利夫さん（80）と妻英子さん（76）、笹井孝信さん（36）。稲葉さん方は倒壊し、笹井さん方は離れに土砂が流入し損壊している。同居する笹井さんの兄寿樹さん（40）は消防隊員に救出されて無事だった。

舞鶴市城屋では同日午前7時20分ごろ、民家に入り込んだ土砂を取り除く作業中の男性が行方不明になったと市に通報があった。福知山市上天津でも同日午前1時ごろ、民家の裏山が崩れ、家屋1軒が倒壊。住人5人が一時生き埋めになったが、午前5時までに全員が救出され無事だった。宮津市では民家2軒に土砂が流入し、4人が搬送されたが、いずれも軽傷。

京都府伊根町と宮津・京丹後の两市を結ぶ国道178号などで道路沿いののり面が崩れるなどし、通行止めとなっており、同町は孤立状態になっている。舞鶴市内でも冠水や土砂崩れで国道27、175、178号、府道6路線の計11カ所で、通行止めや車線規制を行っている。

家屋の被害は、福知山市で床上浸水8軒と床下浸水61軒、家屋への土砂の流入が4軒、京丹後市峰山と大宮町で床上浸水1軒、床下浸水6軒。

各地で避難指示が出され、福知山市で325世帯649人（7日午前7時）、綾部市で10世帯21人（同11時半）、舞鶴市で40世帯67人（午前7時）、宮津市で38世帯88人（同10時）、京丹後市で20世帯48人、与謝野町で10世帯12人、伊根町で2世帯5人（いずれも同9時）が避難した。

京都府北部は記録的な大雨となり、7日午前までの24時間降水量は、綾部市で262・5ミリ、宮津市で320・5ミリ、京丹後市で179・5ミリといずれも観測史上最大を記録した。府内の特別警報は舞鶴市など府北部の5市2町で継続。7日朝に南丹市と京丹波町にも発令した。京都地方気象台は、雨雲の動きによっては特別警報を府南部にも広げる可能性があるとして、警戒を呼びかけている。

JRは、湖西線で一部の運転が再開されたが、京都府内の山陰線や奈良線全線で始発から運転を見合わせ、東海道線は新快速の運転を取りやめた。

【項目 26】

◎台風20号 京滋で猛威 文化財被害相次ぐ 交通影響続く

2018.08.25 朝刊 29頁 本版 (全1,377字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

24日未明に日本海に抜けた台風20号は、京都府や滋賀県にも爪痕を残した。京滋の各地で最大瞬間風速の観測記録を更新。1時間に100ミリの猛烈な雨が降った地域もあった。大きな人的被害は出なかったものの、社寺や文化財建造物の損壊が相次ぎ、鉄道も乱れて市民生活は混乱した。

京都地方気象台などによると、24日未明に京都市北区や左京区、綾部市、南丹市などで1時間に90～100ミリの猛烈な雨が降った。京都府では3カ所、滋賀県では4カ所で最大瞬間風速や最大風速の観測記録を更新。宮津市で最大瞬間風速32・1メートルを観測、東近江市桜川東で同32・2メートルを記録した。

京都府のまとめでは、住宅の一部損壊が京都市や綾部市などで17棟、床下浸水が亀岡市や南丹市などで17棟。右京区京北から南丹市美山町にかけての国道162号など4カ所で土砂崩れなどが起き、5カ所で通行止めとなった。

宇治田原町で女性(62)が転倒して手に軽傷。滋賀県では大津市の男性(70)が強風で転倒して頭を打つなど3人が軽傷を負った。

JRは始発から京都と北陸や山陰方面を結ぶ特急が運転を見合わせたほか、東海道線の京都一長浜間や山陰線の京都一園部間なども運休した。各線とも順次再開したが、遅れが出るなど影響は続いた。

京都市右京区京北では同日未明、集落近くの山が崩れ、土砂が民家3軒に流入した。被害にあった野尻信二さん(66)は「ごう音がして部屋に水が入ってきたので、慌てて外に避難した。危うく生き埋めになるところだった」と話した。

京都府教育委員会文化財保護課によると、国宝の東福寺龍吟庵方丈(東山区)でこけら葺(ぶ)き屋根が一部破損し、いずれも重要文化財の西本願寺南能舞台(下京区)で建物を飾る「菱欄間」の一部(幅約2メートル70センチ、高さ約30センチ)が壊れ、知恩寺阿弥陀堂(左京区)で屋根瓦の一部が落ちた。

東山区の大將軍神社では、拝殿が倒壊し、ご神木（高さ約15メートル）が根元付近から折れていた。氏子らは、拝殿は倒木に押しつぶされた可能性があるとみている。

彦根市金亀町の彦根城では重要文化財の天秤櫓（てんびんやぐら）東面しっくい壁が約3・2平方メートルにわたってはがれ落ちた。

宮津市栗田湾付近の海上に停泊していたインドネシア籍の貨物船が強風に押し流され、大型定置網に乗り上げて航行不能となった。

【項目 27】

台風 21 号襲来 2 カ月 倒木放置恐れ 通行止め続く

2018. 11. 04 朝刊 26 頁 本版 (全 626 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

京都、滋賀でも暴風による被害が相次いだ。台風 21 号の襲来から 4 日で 2 カ月となる。各地の山林では倒木が手つかずのまま放置され、山間部では通行止めが続く箇所もある。テレビアンテナの修理が立て込むなど市民生活への影響が残る中、再起に向けて奮闘する動きもある。(岡本壮、峰政博、本田貴信)

京都府林務課によると、倒木被害は山林で 590 カ所に上り、被害額は推計約 2 億 1500 万円に達する。京都市北東部の北山や長岡京市の西山に被害が集中しており、同課は「木材が売れない時代なので、公費で除去できる部分を除き、放置される可能性もある」と話す。

滋賀県森林保全課によると、県内でも 85 カ所が被災した。被害額は出していないが、大津市葛川や高島市朽木、長浜市西浅井町など県西部、北部の被害が目立つ。同課は「風で倒れた樹木は中にひびが入るなどして建築材には向かないケースがあり、高値では売れにくい」と話す。

道路も通行止めが続いている。京都市土木管理課によると、台風 21 号を含め今年相次いだ風雨の被害で市内山間部の 9 カ所が通れないままだ。左京区北部では鞍馬温泉－花背峠間が 10 月 15 日まで通行止めになった。花背地区以北の住民は市街地へ出るのに南丹市や右京区京北地区を経由する長距離の迂回を余儀なくされた。花背別所町の「別所自治振興会」会長藤井順一さん(70)は「普段は車で 30 分の場所が 1 時間半～3 時間かかった。復旧のめどがなかなか知らされず、住民の不安は大きかった」と話す。

◎美山 瞬間風速 28・1メートル 台風 21 号 観測史上最大 亀岡・南丹 負傷者や倒木

2018. 09. 05 朝刊 20 頁 地方版 (全 1,049 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

非常に強い台風 21 号は 4 日午後 2 時ごろ、丹波 2 市 1 町に最接近した。南丹市美山町で観測史上最大の瞬間風速 28・1メートルを記録し、亀岡市や南丹市では、暴風で倒木したり、瓦屋根が飛んだりして被害が確認されたほか、負傷者も出た。(藤松奈美、秋田久氏、北川裕猛、本好治央)

【亀岡市】午後2時、全域の3万8900世帯8万9258人に避難勧告を発令した。市内の避難所は午後1時時点で、29カ所に92人が身を寄せた。

市役所市民ホールに避難した女性（75）は「自宅の屋根の瓦が飛んだり、雨漏りしたりしていないか心配。雨風の音は怖くてもう聞きたくない。早く通り過ぎてほしい」と不安そうに話した。

市などによると、暴風によって市内各地で停電が発生し、家屋の瓦やトタン屋根が飛ぶ被害があった。強風で飛んだ看板などにぶつかって3人の負傷者が出た。宇津根町では農機具小屋が倒壊し、府道をふさいだ。持ち主の女性（59）は「まさかトタン小屋が倒れるとは思わなかった。迷惑かけて申し訳ない」と話した。大雨により、荒塚町2丁目の駐車場が一時冠水した。

国道9号は、倒木の影響で午後6時現在、沓掛一王子間で通行止めになっている。

【南丹市】午前9時半、市内全域に避難勧告を発令した。避難所22カ所を開設し、102世帯142人が身を寄せた。市営バスは午前11時半から全路線運休した。市によると、美山町知見では電柱が倒れ、日吉町佐々江の神楽坂トンネル入口付近など各地で倒木が発生し、広い範囲で停電した。停電で浄水場12カ所のポンプが停止し、節水を呼び掛けた。

園部町栄町では午後2時過ぎ、アパートの屋根が突風で吹き飛び、周辺の民家の敷地や道路に破片が散乱した。近くに住む70代女性は「ドーンという音が聞こえたので、雷かと思った。大きな台風が来るとは聞いていたけれど、ここまでとは」と驚いていた。

町営バス運休

【京丹波町】午前11時に全域の6329世帯1万4310人に避難勧告を発令した。町内の91カ所に避難所を開設し、241人が避難した。町営バスは午後1時半から全線で運休した。町によると、道路への倒木や倉庫の壁がはがれるなどしたが、大きな被害は確認されていないという。

【項目 28】

◎京都府北部の鉄道再開

2018.09.11 朝刊 30 頁 本版 (全 273 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

J R 西日本は大雨の影響で 10 日朝から運休していた山陰線の福知山ー東浜（鳥取県）間の列車の運行を、同日午後 1 時 20 分ごろから再開した。

京都丹後鉄道も始発から運休していた宮舞線（宮津ー西舞鶴間）と宮豊線（宮津ー豊岡間）の運行を、同日午後 3 時ごろから順次再開した。

また、通行止めとなった国道 178 号の宮津市里波見ー長江間について、京都府は 11 日早朝に点検した後、通行止めを解除する予定。府道綾部大江宮津線の福知山市大江町佛性寺ー宮津市小田間も同日午前中に規制解除となる見通し。府や市町村管理の道路では土砂崩れなどで 20 カ所が通行止めとなっている。

◎亀岡・南丹で大雨被害 民家浸水や土砂崩れ

2018.09.09 朝刊 28 頁 地方版 (全 647 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

亀岡市と南丹市では 8 日未明に猛烈な雨が降り、民家の浸水や土砂崩れが発生した。前線が停滞し、大気の不安定な状態が続いており、京都地方気象台は引き続き災害への警戒を呼び掛けている。

同気象台は 8 日午前 3 時台に亀岡市で 1 時間約 100 ミリ、南丹市八木町で 92 ミリが降ったとして、記録的短時間大雨情報を出した。

亀岡市では、民家 37 棟に床上・床下浸水の被害が出たほか、国道や府道 4 カ所で路肩崩壊や土砂崩れが起き、通行止めとなった。

裏山が崩れ、泥水が家屋に流れ込んだ宮前町の男性（83）方では、消防団員約 10 人が泥の除去に当たった。妻（76）は「こんな事態は初めて。特に小屋が泥まみれでめちゃくちゃ。片付くまでいつまでかかるのか」と肩を落とした。

南丹市では、八木町の国道 477 号や府道など 5 カ所で土砂崩れが発生し、通行止めとなった。神吉と氷所を結ぶ広域基幹農道では道路脇の斜面が約 50 メートルにわたって崩れ、作業員が重機で土砂の撤去作業に追われた。

同市は午前9時45分、八木町本郷の252世帯605人に避難勧告を、園部町穴人の72世帯195人に避難準備・高齢者等避難開始を発令し、午後3時30分に解除した。

同气象台によると、府内では9日午前9時から夜遅くにかけて激しい雨が降る予報で、「土砂災害や河川の増水に警戒を」と呼び掛けている。(秋田久氏、北川裕猛)

【項目 29】

◎京都府北部 浸水相次ぐ 台風 24 号 福知山 民家 2 棟が全壊

2018. 10. 02 朝刊 24 頁 地方版 (全 1,094 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

大型で強い台風 24 号の通過で府北部の各地でも家屋の損壊や浸水など 1 日までに被害が相次いだ。福知山市では大江町南有路の男性 (79) が近くの由良川で死亡しているのが見つかった。(30 面参照)

京丹後市は浸水被害が床上 3 棟、床下 100 棟。同市丹後町・袖志地区では中川が岩や土砂で埋まり、あふれ出た濁水が地区の道路に流入し床上 1 棟、床下 16 棟が浸水した。住民らは早朝から総出で川を埋めた大小の岩や石、民家に流入した土砂の撤去作業をした。

浸水被害に遭った松下徳雄さん (69) は「夜中にのぞくと 1 階の窓の下 20 センチまで水が迫っていた。川が岩で埋まるのは初めてだ」と話した。同町の久僧地区でも吉野川が氾濫、床上 2 棟、床下 19 棟の被害があった。

ほかの浸水被害は福知山市で床上 1 棟、床下 3 棟、宮津市で床上 1 棟、床下 47 棟、与謝野町で床下 4 棟、伊根町で床上 1 棟、床下 22 棟に上った。

建物被害は、福知山市三和町大身と上天津で計 2 棟の民家が全壊。京丹後市弥栄町野中の民家に土砂が流入したほか、網野町の網野北小の窓ガラス 1 枚が割れるなど 3 件が被害。舞鶴市では 9 月の台風 21 号に続き、国の重要文化財・行永家住宅 (同市小倉) の米蔵と新蔵の壁のしっくいの一部が剥がれた。

鉄道関係では、JR 西日本福知山支社管内で 1 日朝から昼ごろにかけ各線で順次運転を再開したが、特急 37 本、普通列車 136 本が運休し約 2 万人に影響が出た。京都丹後鉄道は一部列車を除き順次運転を再開。宮舞線 (宮津―西舞鶴間) の宮津市波路で線路脇ののり面が流出し宮津―栗田間でバスによる代替輸送をした。2 日以降もバス輸送を続け、再開は 5 日の見込み。

道路は国道 173 号の三和町大原―京丹波町間の約 1 キロが土砂崩れの恐れから通行止め。2 日にも調査をして規制解除を判断する。

学校の休校は 7 市町で公立小中学校 13 校が休校、84 校が授業開始を遅らせた。公私立高校は 8 校が休校、10 校 (分校含む) が授業を遅らせた。

避難者数は最大で福知山市が239世帯339人、綾部市が81世帯114人、舞鶴市が129世帯172人、宮津市が54世帯82人、京丹後市が33世帯37人、与謝野町が21世帯29人、伊根町が14世帯14人だった。

【項目 30】

福知山の国道 9 号 通行止めあす復旧

2019. 02. 01 朝刊 25 頁 本版 (全 97 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

国土交通省福知山河川国道事務所は 31 日、福知山市猪野々の国道 9 号で土砂崩れのため継続していた全面通行止め規制を同日午後 9 時に解除し、片側交互通行にする と発表した。2 日に全面復旧する予定という。

福知山の国道 9 号 土砂崩れ通行止め

2019. 01. 29 朝刊 27 頁 本版 (全 178 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

28 日午後 3 時 40 分ごろ、福知山市猪野々の国道 9 号で、道路脇ののり面が幅約 20 メートルにわたって崩れ、大量の土砂が道をふさいだ。国土交通省福知山河川国道事務所は、現場付近の国道 9 号を全面通行止めとした。復旧の時期は未定で、同市上小田～額田間に迂回（うかい）路を設けている。

【写真説明】

国道 9 号沿いで発生した土砂崩れの現場（28 日午後 6 時、福知山市猪野々）

【項目 3 1】

台風 10 号 京滋 8 人けが JR、きょうも一部運休

2019.08.16 朝刊 1 頁 本版 (全 594 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

大型の台風 10 号は 15 日、広島県呉市付近に午後 3 時ごろ上陸した。同日夜には山陰沖に進んで西日本を縦断し、日本海に抜けた。京都地方気象台によると、最大瞬間風速は舞鶴市で 21.2メートル、京都市中京区で 19.7メートルを記録。京都市では、自転車に乗っていた右京区の女性（67）が強風にあおられて転倒するなど計 4 人が軽傷を負った。右京区京北の国道 162 号が倒木で一時通行止めになった。
(22 面に関連記事)

滋賀県では彦根市の量販店の立体駐車場で、警備員男性（65）が非常口の鉄製ドアに右手を挟まれ、人差し指と中指を切断した。同市では最大瞬間風速 17.6メートルを観測、彦根署は強風でドアが勢いよく閉まったとみている。長浜市で 90 代男性と 70 代女性、東近江市で 60 代女性が強風で転倒し、負傷した。

JR 西日本は湖西線和邇—近江塩津間で始発から運休したほか、園部以北の山陰線や舞鶴線、草津線、北陸線なども午後から順次運転を取りやめた。

京都駅を発着する特急は、北陸方面への「サンダーバード」や関西空港への「はるか」、府北部への「はしだて」「まいづる」などが午前中の一部を除き運転を取りやめた。

16 日は「サンダーバード」などは終日運休予定だが、一部で再開を検討している。園部—福知山、綾部—東舞鶴間は、午前 7 時～10 時にかけて運転再開を見込む。和邇—近江塩津間は午前 8 時ごろまで運転を見合わせる。

【項目 3 2】

鞍馬街道の通行止め解除 鞍馬温泉―百井別れ

2020.07.17 朝刊 5頁 本版 (全95字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

京都市は16日正午、大雨による土砂崩れや倒木で8日から通行止めになっていた府道京都広河原美山線(鞍馬街道)の鞍馬温泉―百井別れ間約4キロについて、復旧工事が完了したため通行止めを解除した。

沓掛IC閉鎖解除

2020.07.13 夕刊 9頁 本版 (全189字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

西日本高速道路は13日、大雨に伴う土砂崩れで通行止めにしてきた京都縦貫自動車道の沓掛インターチェンジ(IC)＝京都市西京区＝出入り口について、同日午後3時に閉鎖を解除すると発表した。

同ICでは9日朝に料金所近くの斜面が崩落し、同日午前7時40分から出入り口を閉鎖していた。応急の復旧工事を終えたため解除する。今後も雨量が基準値を超えた場合、閉鎖を実施するという。(本好治央)

【項目 3 3】

倒木で国道 9 号通行止め・停電 専門家 原因調査へ 福知山 樹木の緊急点検も

2020.09.17 朝刊 22 頁 地方版 (全 660 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

福知山市上小田の国道 9 号で 15 日夕、倒木による通行止めや停電が起きたことを受け、道路を管理する国土交通省福知山河川国道事務所は 16 日、専門家による原因調査や樹木の緊急点検を実施する方針を示した。

付近は 1 日約 8800 台の車が通る。倒木は重大事故と紙一重だった。同市榎原の会社員坂元勝良さん（51）は倒木直後、現場に差し掛かって通行できなかった。「もし当たっていたらと思うと怖い。国道沿いは倒木が起きないようにチェックして」と指摘する。

同事務所によると、国道 9 号は週 4 日パトロールしている。倒木があったのは国有地で、2016 年度にのり面を補修した際は異常がなかった。上小田地区では危険性のある木の伐採を進めていたが倒れた木は対象外と判断していたという。

現場では同日、業者が付近の木を除却した。同事務所は今後、樹木医の協力を得て倒木の原因を調べる。藤田晶久副所長は「樹木医から点検方法や着目点についてアドバイスをもらいたい」とする。

通勤で毎日通る同市猪野々の今福志枝さん（62）は 15 日夜、回り道して帰宅した。「自転車通学の子どもたちも通る道。国道 9 号は以前にも土砂崩れで大木が倒れた地区もある。もっと危険なところがあるかもしれない」と話した。

市内には府や市が管理する道路もある。市道路河川課は「(樹木の)腐食で異常があっても目視では分からない。今後はパトロールで傾いている木も点検したい」としている。(岡田幸治、古都千鶴)

【項目 3 4】

大雨 京都 14万人に避難指示 大津 土砂で国道1号通行止め

2021.08.15 朝刊 1頁 本版 (全864字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

京都府と滋賀県は14日、各地で降り始めからの総雨量が8月の月間平均雨量を大幅に超え、浸水や鉄道への影響が相次いだ。京滋の雨のピークは15日朝までとみられ、いったん小康状態になるが、17日には再び警報級の雨になる恐れも。長雨で地盤が緩んでおり、引き続き土砂災害への警戒が必要になる。

京都・彦根の両地方気象台によると、11日夜の降り始めから14日午後10時までの総雨量は、京都市中京区228・5ミリ、長岡京市305ミリ、福知山市214ミリ、近江八幡市300ミリで、8月の月間平均雨量の2・1～1・3倍に達した。24時間雨量は、長岡京市と近江八幡市で8月の観測史上1位を記録した。

14日朝は中京区で1時間51ミリ、近江八幡市で同54ミリの非常に激しい雨に。京都地方気象台は「大阪湾から京都府南部付近に線状降水帯が発生した」とする。

午後9時時点の京都新聞社の調べで、警戒レベル4の避難指示は京都市で左京、東山、山科、西京、伏見区の計6万7941世帯、約13万5千人に発令された。39カ所の避難所が開設され、127人が避難した。京丹後市は峰山、網野、久美浜町の4872世帯、約1万1千人に避難指示を出し、15人が避難。ほかに福知山市で30人、長岡京市で18人が避難するなどした。

滋賀では湖南市と多賀町の全域と愛荘町の一部で計6万3040人に避難指示が発令された。

建物被害は、京都市東山区の茶わん坂で発生した土砂崩れに伴い民家の玄関シャッターが破損。東山区と下京区で計2棟の床下浸水が発生した。滋賀は守山市や東近江市、日野町で約30棟が床下浸水した。

大津署と近畿地方整備局によると午後9時40分ごろ、大津市大谷町の国道1号で土砂が流入し、上下線で通行止めとなっている。

J R 東海道・北陸線の長浜－高槻間、奈良線京都－木津間、山陰線京都－園部間、湖西線京都－近江塩津間は14日朝から終日運休に。これらの区間は15日も始発から少なくとも昼ごろまでは運休する。

府北部でも山陰線の園部以北と舞鶴線などで午前11時以降、順次運休した。

豪雨影響通行止め 伊根、京丹後、福知山

2021.08.17 朝刊 22頁 地方版 (全232字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

府北部で15日まで続いた豪雨の影響で道路の陥没や土砂崩れがあり、伊根町、京丹後市、福知山市で一部の道路が通行止めとなっている。

府丹後土木事務所によると、伊根町蒲入の国道178号が大雨で幅1メートル、長さ4～5メートルにわたり陥没した。同事務所は同町蒲入－京丹後市丹後町袖志間の約5キロを通行止めにした。復旧のめどは立っていない。また、福知山市によると、奥榎原の市道でのり面の土砂が崩落し、道をふさいでいる。市は通行止めにしており、「復旧時期は未定」としている。

大雨 京滋でも猛威 「まさか」 土砂崩れ／道路陥没／鉄道運休 避難所 安全確保にコロナ対策も

2021.08.15 朝刊 29頁 本版 (全852字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

大雨の影響で土砂崩れが発生した京都市東山区の観光地・茶わん坂。普段と異なる光景に、住民は「まさか」と言葉を無くした。新型コロナウイルスが猛威を振るう中だけに、避難所では安全確保に加え、感染対策も講じられた。

14日午前10時ごろ、現場近くで清水焼販売店を経営する女性(56)はドドドドという地震のような音と「大丈夫か!」という大きな声を聞き、慌てて店の外へ。人の背丈を超える土砂が道路を覆い、隣家1階のシャッターにまで達していた。「まさかこんなことが起きるなんて」。硬い表情で語った。

周辺住民が身を寄せた区役所内の避難所では、入り口で手指消毒や検温、健康調査が行われた。運営に当たった清水学区自主防災会長の松井武司さん(75)は「感染症対策は万全にしたい」と話した。

京都市はこの日、土砂災害や浸水の危険性が高い地域で自宅療養しているコロナ患者に対し、宿泊療養施設への避難を電話で呼び掛けた。市によると、対象者約50人のうち3人が避難を希望し、同居家族を含めた計7人がホテルへと移ったという。

鉄道や道路にも大雨の影響が及んだ。山科区の安祥寺川から水があふれ、市営地下鉄御陵駅付近の線路に流れ込んだ。この影響で午前10時ごろから東西線の全線が約2時間運休。同線に乗り入れている京阪大津線も全線で運転を見合わせた。御陵駅では、利用客が駅員に再開の見通しを尋ねたり、携帯電話で連絡を取ったりしていた。

叡山電鉄も午前から叡山本線、鞍馬線とも修学院駅以北の運転をとりやめた。

大津市南滋賀町の県道下鴨大津線（山中越え）では路面が約15メートルにわたって陥没。巻き込まれた車はなかったが、周辺が通行止めになった。（宇都寿、井上真央）

【項目 3 5】 _____

京滋で局地的大雨 国道で土砂崩れも 停電相次ぐ

2022. 09. 04 朝刊 25 頁 本版 (全 315 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

日本海側沿岸部に停滞する前線の影響で、京都、滋賀は 3 日、局地的な大雨に見舞われた。京丹後市峰山町では午後 4 時半までの 1 時間の降水量が 67.5 ミリに達し、9 月では観測史上最多を記録した。同市丹後町の犬ヶ崎トンネル付近では午後 4 時 50 分ごろ、土砂崩れが発生し、国道 178 号が一時通行止めとなった。

雨量は午後 9 時現在、峰山で 103.5 ミリ、京都市右京区京北で 51 ミリ、京田辺市で 36.5 ミリ。京丹後や宇治、木津川、長浜、東近江各市などで落雷などによる停電が相次いだ。

JR 西日本は、湖西線近江舞子ー近江塩津間で午後 5 時 30 分ごろから約 3 時間、運転を見合わせた。

気象庁によると、京滋は 4 日も所により雨が降り、滋賀では雷を伴う見込み。

【項目 3 6】 _____

土砂崩れで通行止め 綾部の古屋地区、孤立解消

2023.01.13 朝刊 24 頁 本版 (全 163 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

1 1 日の土砂崩れで通行止めになっていた綾部市睦寄町の府道舞鶴和知線が 1 2 日、緊急車両と地元関係者の車に限り通行が可能になった。約 2 キロ先の古屋地区の孤立状態は解消された。

府中丹東土木事務所が復旧作業に当たり、道路の土砂や樹木を取り除いた。引き続き斜面の補強工事など安全対策を講じるため、当面の間は一般車両を通行止めにする。

【項目 37】

綾部—京丹波間 通行止めを解除 国道 173 号

2023. 01. 31 朝刊 16 頁 地方版 (全 93 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

中丹東土木事務所は 30 日、国道 173 号の国道 27 号交差（綾部市味方町）—京丹波町三ノ宮の区間の通行止めを全面解除したと発表した。積雪による倒木が 28 日に発生し、復旧作業に当たっていた。

国道 173 号一部 大雪で通行止め 綾部—京丹波間

2023. 01. 29 朝刊 26 頁 地方版 (全 76 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

中丹東土木事務所は 28 日、積雪による倒木のため、国道 173 号の同 27 号交差（綾部市味方町）—京丹波町三ノ宮の区間を通行止めにした。復旧の見通しは未定。

大雪再来 交通混乱 道路寸断 集落孤立 停電も 美山で積雪 65センチ イベント中止相次ぐ

2023. 01. 29 朝刊 26 頁 地方版 (全 946 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

27 日夜から 28 日朝にかけての降雪で、丹波 3 市町でも道路や交通など、市民生活に影響が広がり、山間部では孤立する集落も出た。24、25 日の大雪に続き、住民たちは疲れた様子で雪かきしていた。

28 日の最低気温は南丹市園部町で氷点下 3・4 度、同市美山町で同 3・1 度を記録。府によると、南丹市美山町盛郷（午前 11 時）と京丹波町質志（午前 2 時）で 65 センチの積雪を観測した。

道路は、京都縦貫道の園部インターチェンジ（IC）—京丹後大宮 IC や、国道 9 号の観音峠周辺が昼ごろまで通行止めされた。福井県境へ向かう南丹市美山町盛郷の国道 162 号、同市日吉町の府道園部平屋線などでも積雪や倒木で不通となった。同市美山町佐々里、白石、音海と日吉町中世木の牧山地区、京丹波町仏主の集落ではアクセス道がふさがり、孤立した。

同市美山町、日吉町と京丹波町では広い範囲で停電が発生。午後4時半頃に復旧した京丹波町猪鼻に住む西山芳明さん（70）は「今回の雪は先週よりも重く、道に折れた木の枝が散乱している」と説明した。

鉄道は園部以北のJR山陰線が始発から運行を取りやめ、JRバス園福線などの路線バスも多くが運休した。

週末に開かれるイベントも中止、延期が相次いだ。南丹市美山町のかやぶきの里で、3年ぶりに開幕する予定だったライトアップイベント「雪灯廊（ゆきとうろう）」は停電の影響で、当日の催しを取りやめになった。一方で、京丹波町坂原の道の駅「和」では、クマ肉を使った「クマ汁」が食べられるイベントが予定通り開かれ、町内外から多くの人を訪れた。

市街地では、先日の大雪も解けきらないうちに再び降り積もり、住民らが雪かきに追われた。南丹市園部町で、家族で作業していた園部中1年の田中陽菜さん（12）は「筋肉痛になった。最近の雪で臨時休校や雪かきのために勉強が遅れていて、期末試験が心配」と話した。JR亀岡駅北口では、一面が白く染まった風景にカメラやスマートフォンを向ける人たちもいた。（田中恒輝、町塚葵）

【項目38】

特報 エリア7 集落孤立 どう防ぐ 京都府北部 大雪・豪雨の土砂災害で相次ぎ発生

2023.02.12 朝刊 24頁 地方版 (全1,516字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

豪雨による土砂災害や大雪などで道路が遮断され、集落が孤立する事案が府北部で近年相次いでいる。1月中旬には、綾部市で土砂崩れによる通行止めが発生し、集落が一時孤立状態に陥った。有事における行政や自治会の対応を迫った。(青山智耶、吉原直歩、能美孝啓)

各自治体、発電機配備やドローン導入検討 隣接地区住民 LINEで情報共有

1月11日昼ごろ、綾部市睦寄町で府道沿いの山肌が崩れて通行不能となり、2キロ先の古屋地区2世帯3人が孤立した。府から連絡を受けた市職員が、自治会長の渡邊和重さん(71)に携帯電話ですぐに連絡を取り、住民の安否や食料の備蓄状況を確認した。けが人はなく、府の復旧工事で約15時間後に通行止めは解消した。

その20日後。同地区は再び孤立状態に陥った。「10年に1度」の大寒波による積雪で、1キロ先の府道が倒木により遮断された。3時間後には復旧したが、渡邊さんは「高齢の住民に緊急事態が起きないかいつも不安。迂回(うかい)路を整備してほしい」と危機感を示す。

市によると、災害時に孤立する可能性がある集落は古屋地区を含め市内に21カ所あるという。万一に備え、市は住民の安否を素早く把握できるよう各集落の自治会長の連絡先をリスト化している。市防災・危機管理課は「緊急時は住民と密に連絡をとり、早期に対応する」としている。

他の自治体や住民も孤立対策に力を注ぐ。

丹後半島の先端に位置する伊根町は、2018年の豪雨で国道178号など周辺市とつなぐ大小4本の道が全て通行止めになり、町全体が「陸の孤島」と化した。約18時間後に一部が復旧し難は逃れたが、停電が長期化したり急病患者の搬送に対応できなかつたりする恐れはあった。21年には町内唯一のスーパーが閉店しており、孤立化は深刻な課題だ。

こうした経験を踏まえ、町は町内4カ所に投光器や発電機を配備。被災時の復旧作業を迅速に進める応援協定も建設協会や森林組合、電気工事会社など37件結んでいる。20年には世帯別に安否確認や必要な物資を確認できるタブレット端末も全戸に配った。

府北部で最も孤立の恐れがあるのが福知山市だ。土砂災害警戒区域や山間部に集落が点在しており、市は104カ所を見込む。このため支援に時間を要する山間部の被害を想定し、本年度から状況確認や救援物資の輸送にドローンを活用することを検討している。

大雨など度重なる被災を経験し、自主防災に力を入れる集落もある。由良川が氾濫した04年10月の台風23号で、道路冠水により2日間孤立化した大江町の蓼原（たであら）地区と、被害を免れて同地区の復旧を支援した隣接する小谷（こだに）地区は、合同の自主防災会を設けている。

2地区の住民約70人が災害情報を共有するLINE（ライン）グループを形成。けが人や急病患者に使う車椅子と担架を1台ずつ購入し、年1回の救護訓練を続けている。同会の仁張（にんばり）衛会長（67）は「集落が孤立する怖さを経験し、住民の意識が変わった。救助が来てくれるまではみんなで助け合うことが必要だ」と訴える。

孤立可能性がある集落

(自治体調べ)	
福知山市	104カ所
舞鶴市	38カ所
綾部市	21カ所
宮津市	42カ所
京丹後市	32カ所
伊根町	1カ所
与謝野町	1カ所

【項目 3 9】 _____

土砂崩れ通行止め 府道京都日吉美山線

2023.06.03 朝刊 18 頁 地方版 (全 166 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

南丹市八木町神吉の府道京都日吉美山線で 2 日、大雨の影響とみられるのり面の土砂崩れが発生した。さらなる崩壊の恐れがあるとして、府南丹土木事務所は同日正午から現場の約 20 メートルを通行止めになっている。

同事務所によると、崩れた区間は約 10 メートルとみられ、2 車線ある車道の半分程度を土砂が覆っている。復旧日時は未定という。(田中恒輝)

【項目 40】

京都縦貫道通行止め解除

2023.08.19 朝刊 23 頁 本版 (全 141 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

台風 7 号による土砂崩れで全面通行止めになっていた京都縦貫自動車道京丹波わちインターチェンジ (IC) - 舞鶴大江 IC の通行規制が 18 日午前 4 時、解除された。豪雨で 14 日午後 11 時 20 分から通行止めとなり、15 日に 2 カ所で土砂崩れが確認されたため、西日本高速道路が復旧作業を進めていた。

台風 7 号 京都府北部で土砂崩れ・浸水

2023.08.16 朝刊 1 頁 本版 (全 1,025 字)

◆記事イメージの表示 PDF この記事を印刷

台風 7 号の接近に伴い、14 日深夜から 15 日にかけて京都府北部を中心に大雨による土砂崩れや浸水被害などが相次いだ。気象庁は 15 日午前 1 時前までに 1 時間に約 90～110 ミリの猛烈な雨を観測し、舞鶴、綾部、福知山 3 市に記録的短時間大雨情報を発表。3 市と京丹後市、甲賀市で避難指示が発令された。強風で転倒するなどして京都で 5 人、滋賀で 2 人が軽傷を負った。

府災害警戒本部などによると 15 日午後 4 時現在、住家被害は一部破損が 2 棟、床上浸水は 3 棟、床下浸水は 6 棟。綾部市の犀川と西方川の越水で複数の床下浸水が、舞鶴市の商店街でも複数の床上、床下浸水が確認され、被害は増える見込み。舞鶴市の伊佐津川では木造歩道橋の境谷橋が損壊した。土砂災害による通行止めで福知山、舞鶴、綾部の 3 市 4 地域の 35 世帯 62 人が孤立状態となっている。

また府施設「京都テルサ」(京都市南区)の 5 階屋上のブリキ製看板(縦 1・8 メートル、横 0・9 メートル)2 枚が地上に落下した。

府内では自主避難所を含む 436 の避難所が開設され、最大 278 人が一時、避難した。府は舞鶴、綾部、福知山 3 市に災害救助法の適用を決めた。

京都と彦根の両地方气象台によると、京都は 13 日夜の降り始めから 15 日午後 4 時までの雨量が福知山市坂浦で 282・5 ミリ、綾部市睦寄町で 271・5 ミリ、福知山市荒河で 191・5 ミリ、舞鶴市で 161・5 ミリ。滋賀は 15 日午後 5 時までの雨量が甲賀市土山で 248・5 ミリ、高島市朽木平良で 233・5 ミリ、甲賀市信楽で 136 ミリなど。

J R 西日本は15日朝から東海道線（京都線、神戸線）や奈良線などの運転を一斉に見合わせた。山陰線（嵯峨野線）の京都―園部駅間は午後2時半から終日運休。近鉄も京都線や奈良線などで順次、運行を取りやめた。

舞鶴若狭自動車道の福知山インターチェンジ（IC）―舞鶴東IC、京都縦貫自動車道の京丹波わちIC―舞鶴大江IC、山陰近畿自動車道の宮津天橋立IC―京丹後大宮ICが通行止めになった。西日本高速道路によると綾部市の京都縦貫道で土砂崩れが発生し復旧に数日を要するという。

大津市では大規模な倒木で県道大津南郷宇治線が通行止めになった。

関西電力によると、15日午後8時現在、京都は最大約5970戸、滋賀は最大約2410戸が停電した。